京城日報
三月六日夕刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價　一ヶ月金六十五錢…
京城太平町通一丁目　發行所　京城日報社
印刷人　小川三之助
電話　編輯用長三四五番　營業用三六番
振替貯金口座京城一三六〇番

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（五日）

▲本會議（續報）

【第二讀會＝化學工業政策質問に續く】右に對し岡商工局長の答辯あり次いで田中善立氏（憲政）國民思想に關する質問を爲し後藤內相の麻布の新邸を引例して奢侈の弊風に就きて政府の所見を問ふや後藤內相登壇　予の財産に就きては曩きに高木正年氏（憲政）よりも質問されたるが予の財産は所有地七千坪が三十年間に約十倍の價格騰貴を爲せる爲にて新邸營造の如きも之より見れば別に怪む可きに非ずと論辯し次いで齋藤紀一氏（政友）より精神病者取締に關する質問あり終りて日程に入る

獨逸東漸と極東

は最も機宜に適すと云ふ可く吾人も寛に歡迎する處なり日本は國民の氣質に於て又經濟上の見地よりしても共に獨逸人を懲らす理由を有す露國の崩壞は獨逸の侵迫を近く日本の門戶に齎したる今日日本が其全力を盡して聯合與國援助の行動に出でざるべき理由としては毫も之れある無し況んや是れ日本自衛の途なるに於てをや（倫敦發二日某所着電＝東京）

獨軍長驅　疾風枯葉を捲くが如し

リンデゲン軍の奮戰

二十六日獨公報『自轉車隊、騎兵機關銃の選拔兵を先驅とするアイヒホルン軍の一支軍はモール水道通過後四日目即ち二月二十五日朝レグアールに侵入せりレブランドに於ては各市邑國旗を掲げて獨軍を迎へ露軍の拘留せる住民を釋放せり尙プスコフ侵入の際敵は頑强に抵抗したるも之を擊退しリンデゲン軍の一部はブリベツト河に沿ひ前進しコレン、コビツチ（キエフ西方約二百基米突）附近に於て攻擊し來る敵を擊退し餘力を以て停車場を占領せりリンデゲン軍は非常なる困難を犯し汽車自動車及び徒步にて數日間に百八十五哩を前進し小露西亞軍隊と協力して同共和國の大部より敵兵を驅逐し小露西亞政府は秩序を恢復し最近三師團の幕僚及び將校百八十名下士卒三千六百六十二名を捕虜せりプスコフ及びバールに於ける捕虜戰利品の調査は未だ完了せず二十四日コンスタンチノープル通信は同軍がトンビズスドを占領せるを報せり（倫敦電報）』

▲過激派軍捲土重來畫策　チタ滿洲里間鐵道破壞後の過激派軍は目下ボウルゲにありてイルクツクよりの來援を待ち捲土重來の計畫を爲し居れり（長春特電）

▲俘虜私服にて散步　ハバロフスクの獨逸捕虜は全く解放され其內將校は背廣服にて市中を散步し居れり（長春特電）

◎愛蘭に暴動起る

愛蘭のクレーア州に暴動起り人民の財產を掠奪し警察力を以て之を鎭壓すること困難なるを以て軍隊を急派し國防條例に基き同州を軍政地帶と宣言し秩序恢復迄部隊指揮官に必要なる權能を附與すべしと（倫敦電報）

◎斷乎たる措置　日本の出動慫慂

二月二十八日英紙『グローブ』社說に曰く日本外務大臣は露獨講和成立の場合日本が最も斷然たる適宜の措置を執る可きは言を俟たざる處なり露國の崩壞は獨逸をして其兵力を露國戰場より西方戰場に移さしめつゝあり苟くも茲に於ける吾人の主戰場なり西方戰場は我が戰線の戰鬪力を弱むることは吾人の飽迄不可とする處此際日本が東洋に於て我方援助の行動に出づ

◎總督邸晩餐會

長谷川總督は目下入京中なる鳥山平壤覆審法院長、同松寺檢事長、中山大邱覆審法院長、同膳檢事長、城京城覆審法院長、同中村檢事長の六氏を六日午後七時總督官邸に招待し晩餐會を催したるが渡邊高等法院長、國分司法部長官、司法部各課長以上神田秘書官、齋藤大島兩副官等主客十四名出席せり

◎關稅定率令改正

▲關稅定率改正要旨

朝鮮關稅定率令中改正の件は七日制令を以て發布即日施行さるべし

石炭其他輸移入稅廢止

製鐵業者の輸入する物品の關稅免除に關する府令は七日制令と同時に發布即日施行のこととなるべし右府令改正の要旨は今般公布せらるべき朝鮮關稅定率令中の▲改正に伴ふものにして

右の改正は石炭の輸移入稅廢止及び一定能力の製鐵業に必要なる設備材料及び事業用品の輸移入稅免除にして孰れも方今內外の情勢に鑑み朝鮮に於ける產業及び貿易上特に急施を要するものに屬す蓋し石炭は製鐵其他各種事業の開發に當り必須の助成原料たるに拘はらず朝鮮には無煙炭及び小量の褐炭の鑛床存在すれども其用途は一局部に制限せられ一般に用途の廣汎なる有煙炭の供給は之を輸移入に俟たざるべからず而して之が▲關稅の存置は目下朝鮮に於ける各種工業の勃興の氣運を阻止するの虞あるに依り產業獎勵上之に對する課稅の廢止を斷行する者にして次に製鐵業の獎勵は鐵材の自給上中央政府の政策に相呼應して其設備材料及び事業用品に對し關稅免除の必要なるを認めたるに由る而して製鐵又は製鋼能力に關する條件は內地に於ける製鐵業獎勵法の關稅免除と全然一致せしめたるも免稅品種等に就ては朝鮮に於ける特殊の事情に鑑み多少の斟酌を加へ又前記生產能力に關する▲方針の確定せる結果其能力に達せざる鐵の精錬事業用品に對する從來の免稅は之を廢止せるも新令施行前の計畫に係る同事業に對しては既得の利益を尊重するの意味に於て今後一年を限り從來の如く其用品免稅を繼續することゝしたる等なり

◎民政實施後の青島

民政實施と支那側の抗議、青島の日本人、青島の事業熱、金嶺鎭鐵鑛の採鑛

青島民政長官　秋山雅之介博士談

青島民政長官秋山雅之介博士の出發を京義線に送る、長官は曰く『青島に行つて▲民政實施匆々近々三月ばかり暮しそれから東上して二月を過したに過ぎぬ、青島などの話しより朝鮮話を聞きたいよ』と冒頭して『青島民政實施に對する支那側の抗議、イヤ抗議ぢやない軍政を民政に更へた理由の說明を求めて來たのだ、それは僅か昨年十一月十三日と思ふが求めにより正當な理由を吾々の方で說明したから問題はそのまゝに濟んでゐる世間の評判は恐ろしく高かつたが唯それだけのものだ、青島の現住日本人は今日の所資產を有する人多く總數二萬人ばかりだが▲門司から一月六回の便船毎に三四百人位宛新たな渡來者があつて人口はズンへ殖ゑて尤もそれらの新來者は悉く青島に留まる譯でなく濟南にも坊子にも行くのだが兎に角山東鐵道の沿線に吾が同胞の居留が著しく殖ゑてゐるのは事實だ、更に昨年來青島を中心として各種の企業續出し既に操業を初めてゐるものもあるが目下概ね其の工場や事務所の設營中だ、事業の計畫者は素より內地の資本家で事業種類の二三を擧ぐると支那產繭による生絲工場▲支那綿を紡ぐ紡績業、白山の硝土よりガラスを作らんとし山東繭の再製、曹達製造、嵯ては山東省名產の落花生を搾つて油を採り、セメントの製造をやるなど恐らく今後の青島の事業的發展は注目に値するものがあらうと思ふ、現に事業創設中の現今でも投資をした額は一千萬圓を下るまいと思はれる、今日でも青島の表通りはそれ程でないが裏通りに行くと之等事業計畫の進行に伴ふ橫溢せる活氣は素晴らしいものである何しろ朝鮮のやうな面積の廣い土地には多少の事業が起つてもそれ程目に立たず例へば春雨の如きものだが▲地を濕ほす地域の狹い青島に上述のやうに多くの事業が一時に企畫されると烈しい夕立に逢ふやうに其の土地の受くる影響は目ざましいものがある、山東鐵道沿線に於ける金嶺鎭鐵山の採鑛、予の東上は中央政府と其の事の打合せをなすのが主要なものゝ一つであつた、金嶺鎭鐵山は既に獨逸時代から盛んにボーリングをやり吾邦の占領に歸してからも一昨年あたりよりボーリングを續行し現にやりつゝあるが既に容易に採鑛し得る推定鑛量は約七百萬噸であつて▲鑛質はよし大正七年度から其の採鑛を行ない年額十萬噸位宛八幡製鐵所に供給する事にならう、唯其の採掘を山東鐵道の手でやるか、但しは又民間に受負はすか未だ決定してゐないが多分民間の受負に附するであらう、其の採鑛を民政廳に出願して來てゐるのも大分ある、尤も採鑛をやるにしてもまだ其の設備は出來てゐないのだから年度替りより直ちに着手すると云ふ譯には行くまい、青島方面に於ける日本人の需要米は殆んど全部仁川より來る▲朝鮮米に仰いでゐる此頃入荷が少なくて大分高いらしい、山東省には今日米產を見ない、のみならず將來も到底見込みはあるまいと思はれる、民政地域內にゐる支那人の感情がまだ實施後日が淺いからどうかと批評をなし得る迄に立到らないが引取つて民政に對する批評は日本人の間にあり奸よ、何か願つても早く出來るとか遲くなつたとか云つてね、と語る、乃で記者が早くて良いと云ふんですか遲くて困ると云ふんですかと問ふと內田氏は遲くなつたのも速くもなつたのもありませうと曖昧な事を云ふ、すると▲長官が橫合から惡くなつたつて不平を云つてゐる者の方が多いらしいぜと笑ふ、尙ほ青島附近には鮮人の居住は殆んどないさうで內田氏の如き稀に市中で洋服を著た鮮人を見かけ其の朝鮮語を聞くと馬鹿に懷しい、八年も朝鮮の役人をしてゐたのだから無理はないでせうなどゝ語つてゐた、又青島內地間の船腹は二千噸級船が月に六回通ふだけで不足だから青島埠頭に內地行貨物の停滯を多く見てゐるとの事である

◎警務部長會議（第七日）

憲兵隊長警務部長會議第七日は六日午前九時半憲兵隊司令部階上會議室に於て開會出席者前日の如く古海總長統裁の下に一般事務の打合を爲し正午閉會之を以て同會議は愈々終了せり

◎鮮米輸出制限方針　輸出出願手續を簡便にす

總督府商工課長　生田清三郎氏談

去一日府令を以て米、小麥、小麥粉の輸出制限令中に追加の件を發布され本月八日より施行のことゝ成りたるは既報の如くなるが生田商工課長は左の如く語れり

米其他今回輸出制限令中に追加された物品の輸出許可手續及び大體の方針に就ては農商務省とも協議の上決定したるものにて略內地と一致せるが▽原則としては一般に輸出を許可せず但し府令公布の日以前契約完了したるもの或は在外邦人が食料の供給を朝鮮に仰ぐの必要あるとき其他特殊の必要ある場合協議の上特に之を許可すべく關東州、滿洲、青島等は朝鮮とは特別の關係もあり從來年額三十萬石內外を輸出しつゝある狀況なれば同地方への輸出は本邦人の食料品として必要なる數量に限り許可を與ふるの方針なり而して其手續は迅速の處置を要するを認め成るべく手續を簡略にし▽商取引に支障を起さしめざるを主意とす仍て願書は稅關に提出せしめ此事件に限り道廳を經由せず稅關長より總督府に申達せしめ其特に急を要すと認むるものは電報を以て申達し同樣電報を以て許可の指令を發すべく斯くて處分の後道廳に回附して取扱を爲さしむる筈なり又個々の場合一々出願するは當業者の其煩に堪へざるべきを思ひ一定の稅關を經て輸出するものに限り三十日以內に輸出すべき豫定の總數量に對し包括的の輸出出願を爲し其範圍內に於ける個々輸出は▽稅關長の取締に委任し倘當業者は許可を受けて輸出したる場合仕向地に於ける日本官署の到達證明書を稅關長を經て提出するを要す因に滿洲其他支那各地への朝鮮米輸出高は前記の通り一箇年三十萬石內外なるが昨年十一月以降本年一月迄の對支輸出高は約六萬石なりと

◎土木出張所長打合會（第二日）

土木出張所長打合會第二日は六日午前九時より總督府土木局長室に於て宇佐美長官統裁の下に開會午前中人事に關する打合せ午後事務上の打合せを爲したるが之にて日程全部を終り同會議は同日を以て終了せり

◎經理講習會終了

京畿道憲兵隊本部に於て客月二十六日より開會中なりし憲兵經理講習會は五日を以て終了同日午前九時半より終了式を擧行したるが國澤大佐より一場の訓示ありたり

◎判任見習試驗期日

總督府並に全道に亙る本年定期判任官見習試驗期日は來四月十四日擧行さるべきを以て希望者は三月三十一日迄に願書を提出さるべしと

◎秋山長官出發

入京中なりし青島民政長官秋山雅之介、同事務官內田隆の兩氏は六日午前九時五十分南大門驛發列車にて北行大連經由歸任の途に就きしが停車場には渡邊法院長、狄田局長、久水課長外本府及び所屬官署の高等官、大田鮮銀理事、高野三井店長其他の見送り多かりき

◎金久保少將視察

第四十旅團長金久保少將は甲副官を伴ひ教育事務視察の爲め六日朝龍山發大邱に向ひたり

◎太田副官歸任期

全國憲兵隊長會議列席の爲め東上中なる憲兵隊司令部高級副官太田憲兵少佐は來る八日午後南大門驛著列車にて歸任の筈

◎警察懇親會

各道憲兵隊長警務部長の入京を機とし憲兵隊司令部總監部及び京龍憲兵官署在勤高等官一同は六日午後六時半花月に於て懇親會を催うしたり

◎今關氏講演會

七日午後七時半より京城俱樂部の囑託今關天彭氏の支那文藝十講の內第五講「宋以前の繪畫」に就き講演あるべし

地方　大邱

▲近日水利起債　近日水利組合にて大邱同組合起債二十萬圓に對する償却期間十九年賦なりしを二十四年賦に變更の件並に更に二萬二千三百圓起債の件は三月四日附を以て認可されたり

▲竹﨑氏歸東期　今回大邱府尹より新義州府尹に轉任を命ぜられ病氣の故を以て辭表を提出したる竹﨑六次郎氏は來る八日午後十二時二十分大邱驛發列車にて歸東の筈なるが大邱官民有志は氏が在任中の功勞に酬ゆる爲め記念品を贈呈すべしと

▲小學校落成期　新築中なる大邱公立第二尋常小學校は本月中に講堂及び雨天體操場の建設を終り之を差し當り教室に充て四月の學年始めより一年生二學級の授業を開始する筈なるが右職員は內地より若干名と新に大邱公立小學校より來る者もある由にて校長は既に人選を終りたれば不日之が發表を見るべしと

地方　光州

▲陸軍記念日　來る十日の陸軍記念日當日光州在鄉軍人會分會主催となり小學校に於て官民合同祝賀會を開き尙ほ武德會と聯合して劍擊柔道大會を催すべく計畫中なるが軍司令部又は四十旅團司令部に於て講演將校の派遣を承諾さるれば講演會をも開く筈なりと

▲學校組合協議會　光州學校組合にては六日組合議員を召集し大正七年度豫算協議會を開く筈なるが附議案は多分商工業者の雜種稅中の藝娼妓稅等重なるものなるべしと

▲小學校學藝會　光州小學校にては來る十二日より開會さるゝ全南小學校長會議の爲め各校長の入光を機とし十一日同校に於て學藝會を開き校長一同の觀覽に供すべく尙一般の參觀も隨意なりと

▲棉花總販賣　本道棉花各郡販賣所は二月末を以て全部閉鎖したるが販賣高約二千萬斤價格四百萬圓にて外に寄贈買棉五百萬斤に上れる見込みなれば實收實に五百萬圓に及ぶべしと

大阪財界通信

▲列國支那放資　戰後の世界的經濟戰に於て各交戰國が貿易發展の主目標とするは隣邦支那にある事は既定の事實なるが戰前に於ける英米諸國の支那放資は英國の四億圓佛國の三億圓獨逸の二億四千萬圓米國の一億二三千萬圓を主とし其放資は各方面に亙り居れるが其中最も大規模なる支那鐵道に對する列國の放資額を見るに支那鐵道は開通哩數六千九十哩に達し計畫又は工事中の哩數三萬五千七百八十三哩に上り英、佛、獨、露、米、白及び日本の放資契約金高は合計十一億二千六百二十六萬圓哩數八千五百六十九哩の大規模にして其內實際放資高は五億四百六十四萬圓完成哩數二千四百三十三哩に上り（白耳義を含む）佛國の實際放資額は英國の一億八千二百四十四萬圓を凌ぎ二億三千四百十萬圓を以て第一位を占め以下獨逸六千五百四十萬圓日本一千八百七十萬圓の順位にして其他露國は二千百萬圓米國は千五百萬圓の契約高あるも未だ實際放資を爲さず要するに支那鐵道の放資國は英佛兩國過半數を占め日本の放資は僅かに千九百萬圓に過ぎず支那の重大利害關係ある日本は此の如く列國の下風に立ち居れるが英佛其他に比して國富の懸隔大なる爲めなるが主に歐洲戰爭の影響を受け英佛米獨露皆放資を見合せ未發高五億八千廿六萬圓に達するを以て正貨激增金融緩漫物價騰貴の關係ある日本は列國の放資杜絶を機會として支那放資に銳意努力するは國家の急務なり以上の放資高を表示すれば左の如し

	放資契約高	實際放資高	豫定線路	完成線路
英國	四四〇、六四	一八二、四四	三、八九九	一、七〇二
佛國	三六〇、〇〇	二三九、七〇	一、〇五三	五〇三
露佛	一六六、〇〇	—	一五一	—
佛白	三三六、四〇	一〇八、四〇	二、一八四	三五五
露國	二一〇、〇〇	—	四八四	—
獨逸	六五、四〇	六五、四〇	六九三	—
日本	一九、〇〇	一八、七〇	一七〇	一二八
米國	一五、〇〇	—	一〇〇	一
計	一一二六、二六	五〇四、六四	八、五六九	二、四三三

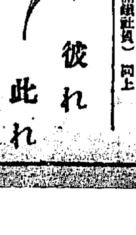
▲事業界好趨勢　將來經濟戰の激甚に應ぜんとし事業界及び金融界に於ける實力信用を具備せる會社は今日迄に增資擴張に適すべき機運を待ちて夫々之が決行を爲せしも一部の當業者中には戰亂の比較的永續すべきを豫想し資力充實の進捗を決行せざりしが最近に到り米國禁輸令は差したる大影響を見ざるべきも政治經濟上の兩面より獨逸の辣手が露國に加へられつゝある結果として露支間に生ずべき將來の危惧心は吾國に於ける一般財界に暗雲を生ぜしめたるは明白にして何となく戰局の將來は吾國の事業界に不安の念を抱かしめつゝある結果吾國の事業界に不利なる變局の生ぜざる內に金融緩和の時機を見計ひ資力の充實を斷行して將來の經濟戰に策應するの得策たるべきを以心傳心的に傳波せしを以て遲れ馳せ乍ら斯る實行的機運を生じたるは吾國事業界の爲め喜ぶべき現象にして當地に於ける宇治電社債、三十四銀行增資、大阪鐵工場株拂込、上海取引所創立運動等の如き又關東方面にても近く日本石油の二千萬圓增資の如き大小幾多の資力充實運動の簇立する傾向を生じたるは一般金融業者及び事業家の注目すべき現象なりとす（大阪支局）

◉忘機吟社課題正誤　五日夕刊所載同社三月例會席上課題『題四君子賦』は『題四君子圖』の誤植に付訂正す

人事消息

▲天野茂山府尹　六日午前退京
▲倉崎砲兵大尉　六日午前東京へ
▲伊藤軍醫正（憲兵隊司令部）　五日午後新義州へ
▲佐々木釜山高女校長　五日午後釜山へ
▲三好馬山府尹　五日午後退京
▲野口次郎三氏（總督府技師）　五日忠清南道內へ出張
▲鈴木元繼氏（同上）　五日附を以て十七日間黃海、平南兩道へ出張を命ぜらる
▲正田安鎮氏（同上）　五日附往復四日間の豫定にて大邱へ出張を命ぜらる
▲柴秀作氏（平北第一部長）　六日朝入京朝鮮ホテル
▲原鍊三郎氏（朝鮮製紙重役）　同上天眞樓へ
▲朝倉傳次郎氏（滿鐵社員）　同上

彼れ此れ



◆露國反過激派の有力者は、臨時政府を、組織せりと傳へらる。其顔觸れを見るに、首相リヴオフ公は、大革命後、立憲民主黨內閣の、最初の首相に推されたる人也。未だ中年の働き盛りにて、民間の大才、燃ゆるが如き愛國心に富む、今迄郷里莫斯科にありて、敢然單獨中立の態度を持し居たり。陸相ウルシロフ將軍は、曾て南方戰線の、總司令官として、著名也。藏相ウスツロゴフは、社會改良家、外相クダシエフは、十數年以前日本駐在外交官たりし人にして、公爵たり。交通相は、世人の知る、ホルワット將軍也。要するに武器の供給が、其成敗を決すべき、最後の問題たる今日、臨時內閣は、如何なる方針に出んとするか、大に注目に値す。

◆奉軍西伯利亞出兵を報ぜらる今日、新銳の武器を得たる、同軍の一部は、反對に山海關より西す。曾て惟任日向守は、中國に向はんとして、桂川を渡るや、鞭を揚げて東指す。奉天軍果して、日向守を學ばんとするか。

◆江蘇の鐵李純、漢口出兵を稱して、三十萬元を要求し、二十萬元を得るや、部下に出動命令を發したるは、勿驚僅に二百人に過ぎず。兵士一人前の値千元、恰かも春宵一刻、同額、決して安價に非ざる也。然れども江蘇の春宵は、十萬元に値すべし。

十一月一日現在

◆彼等の苛酷なる要求 [illegible]

（上はレーニン）

◎その聲や可哀し レーニンの叫び！

＝露西亞新聞所載＝

◇戰ふには力を要す、現下露國民は既に其力を失ひたり◇

去る二十三日露都中央勞兵會の會合席上に於るレーニンの演說は熱烈なる調子を以て聽衆を動かしたるものなるが、最近長春に達せし哈市發行の一露紙の傳ふる所によれば其の梗概左の如く、昨今露都危急說高き時彼れの言に對比すれば一種凄壯の感なくんば非ず。レーニン曰く。

◇獨逸帝國主義 が目下優勢なる力を以て吾人の胸元を膝下に敷きて咽喉に及ぶを擬し居ることは事實なりされば彼等の苛酷なる要求をも吾人が絶大なる屈辱を忍びて承諾せざる可からざる情態にあることも亦事實なり。而して之を以て事實なりとせば

吾人が今回獨逸の講和提議に對して其の承諾を表白せるも、最早已むを得ざるに至れるものにして、而かも此の已むを得ざる處置に出づるに非ざれば吾人の咽喉は遂に貫かれざる可からず、實に吾人露國民は今次の大亂に就きて以來、軍事的に

◇全力を盡し終 たるものなり、世人は吾々革命政府の處置方針實狀につきて頻りに非難を加ふる者あるも例へば彼のクルイレンコが未だ聯隊旗手として戰線に在りしとき既に熱心なる勞働階級の一味たるとして、又革命後彼が現地位につきし後も

組織的軍隊の編成に努力を捧げた

ることは諸君の知る所なり、然るにも拘はらず現在の混亂を來せしは實に全力を費消したるに由る。又世人は屢ば革命兵士が諸方に於ける掠奪的行爲を非難するも然かし

◇吾人は言明す べし、個々の兵士に假し時として掠奪者を出だすとするも是に由りて遠大深淵なる革命、精神其の物に何等關する所なきことを。此くの如き非難を以て快しとする輩は歐洲諸國の革命史を稽きて反省すべし

吾々も吾々の友人たる兵士が掠奪を行へる事實は隱する所なく茲に承認すべし。唯斯かる些細なる過失を捕へて革命の眞義を疑ふ者は正確なる結論を爲すものなりと謂ふを得ず

◇重ねて告ぐ 吾人は決して今日の悲劇が且つ不自然なる平和に滿足なる者に非ざることを。吾人簡明に非ず告ぐ、戰ふには力を要す、現下吾々露國民は既に其の力を失ひ居るに非ずや。但し四五の主戰論者あるも其は政府乃至事を好む[illegible]家のことのみ、一般の國民は平和を熱望して餘りあり。吾人は更に最後に告げんとす、吾人が多大なる犧牲を拂ひて實を結ばしめたる此の革命は今日外形的には明かに危險に瀕しつゝありと雖も

◇歷史的に重大 なる意義を有するや亦明かにして此れに上りて獨乙帝國主義の將來受くべき打擊は必ず現はるる時機あるべく獨乙の勞働階級は吾人の此の多大なる犧牲を決して

永久に徒勞ならしめざるべし、吾人が彼等に與へたる心理的變化は必ずや彼等の覺醒を促進すべき有力なる原動力たることは吾人の強く信じて疑はざる所なり』と（奉天）

◎九鐵瀆職事件擴大

＝起訴百數十名收監數十名＝

◇これが爲縊死せるあり人を殺せるあり混亂を極む◇

福岡地方裁判所管內にて昨年九月より九州鐵道管理局福岡鐵務署八幡製鐵所員等の收賄瀆職事件に就き檢擧行はれ之れに贈賄したる三井、伊藤、貝島、麻生、中野、古河、大正、福岡其他の大炭鑛家九州阪神東京方面の造船業者、鐵工業者の諸店員等の拘引となり三十、岡崎諸銀行、三越、高島屋等も調べられ既に起訴されし者百數十名、收監者數十名に及び其中に鐵道院九州管理局字佐美參事、太田副參事、筑豐線各驛長福岡鐵務署吉監督官、製鐵所前販賣部長富太郎氏等あり故押川長官に關係しては小袋工作所、賓末所長、帝國鑄物會社、栃木造船所、石川島造船所、日本造船所、久保田鐵工所、大阪鐵工所々員の拘引さるゝあり之れが爲め縊死せるあり人を殺せるあり逃亡せるありて大混亂を惹起しつゝあり一方[illegible]は猶容易に中止せられざるべし（大阪特電）

◎榎進水式 舞鶴にて

五日舞鶴にて新造驅逐艦榎の進水式擧行さる（舞鶴電報）

◎光瑞師全癒 旅順に來るべし

大谷光瑞師は香港より澳門に赴き同地に於て病後靜養中なるが三月中旬頃澳門を引揚げ上海に赴き四月上旬旅順に來るべしとの事なるが伯の病氣は昨今全癒し最早再發の憂なしと（大連）

◎黑住信徒大會 管長不信任

財政紊亂の結果二百萬信徒を騷がせたる岡山縣下黑住教管長不信任の聲を擧げ廿五日岡山に信徒大會を開催す（岡山電報）

◎山東運輸會社設立

大連及び青島埠頭の荷役倉庫業者は今回株式組織の會社を創立すべく發起人會を開き山東省運輸株式會社を設立し本店を大連支店を青島に設置する事に決議せり（大連特電）

◎朝鮮商工銀行

慶南馬山の[illegible]道兼穀物商[illegible]氏及び當地竹村、猪熊、桑原諸氏發起の朝鮮商工銀行設立認可さる（大阪特電）

◎六連發自殺

京都第三商等學校教師の息[illegible]（二〇）は五日不治の難症を苦にやみて六連發にて自殺せり（京都特電）

◎押川事件豫審決定す

押川氏瀆職事件五日豫審決定あり理由書左の如し

理由書（全文）

被告[illegible]三は大正四年秋大阪市西區中田岡小野鐵工造船所小野郁吉へ載荷五千噸（總噸數三千噸）級汽船の建造を依賴したる處英、及び米國が相次いで鐵輸出を禁止し其影響延て我國に及び鐵材の拂底を來したるを以て淸吉をして製鐵所へ造船用鋼材二千噸の拂下を出願せしめしが當時製鐵所の製造力乏しくして願意の容易に達し難きを憂ひ苦心の折柄偶々同年十二月豫て被告と親交ある製鐵所長官押川則吉が製鐵所大阪出張所に來りたるを好機なりと爲し此事情を訴へ淸吉の出頭を聽許あり度き旨懇請し尚ほ製鐵所本廳又は東京府荏原郡大崎町大字上大崎字[illegible]二八二番地則吉の私宅を訪問して其目的の速遂に努め則吉は製鐵所部內に多少異議ありしにも拘らず鋼材約千噸拂下の決裁を與へ大正五年五月二十三日經理部長をして小野鐵工造船所へ其旨を通知せしめたり之れより先き被告は製鐵所當局長に畏みあり到底當初出願の數量を得る事の困難なるを察知し淸吉と謀り二千噸級の汽船に計畫を變更し其代金を五十四萬七千圓と協定せり而して小野鐵工造船所は大正五年九月以來製鐵所よりの鋼材の配給を受けて汽船の建造に着手したるに被告は[illegible]年十一月六日速成中の汽船を犬上慶太郎なる者に代金七十六萬五千圓にて賣却して更に其差額二十一萬八千圓を利得したるを以て鋼材拂下に關する則吉の厚意に報酬せんと欲し同月下旬一萬三千圓を以て當時明治四十二年發行帝國五分利附公債千圓券十枚（額面一萬圓）を購入し之を小包郵便に托し福岡縣八幡町製鐵所長官官舍押川則吉に宛て發送し別に書狀を以て同人に從來種々厄介を受けたる謝禮として公債證書一萬圓を贈與する旨申送り以て則吉に贈賄し則吉は該公債證書を受領し[illegible]年十二月九日之れを東京市京橋區南槇町十五株式會社[illegible]銀行に保護預けとなしたり

上の事實は證據充分にして被告の所爲は刑法第百九十八條第一項に該當する犯罪なるを以て刑事訴訟法第百六十七條に依り決定す（東京特電）

◇記念日當日 の狀況を添ふるべく屋臺曳物等を出すべく寄々協議し居れり、然して今回の聯合演習の擧行せらるべき新練兵場は從來の漢江通りの舊練兵場の所に比し京城方面よりの來賓並びに觀覽者に取りて土地遠隔の氣味あれども同所は龍山市外の郊野としては漢江に臨み尤も風景に富みたる地なれば此の機會に於いて

◇新練兵場の 位置を公衆に紹介するも面白かるべし、然して第一期終了後の軍事講話は京城龍山に於ては從來駐箚師團隊等より各學校に將校出張して之れを爲し來りしも本年は一定の地點に集めて講話する事となりたるのみならず中等學校程度以上の鮮人學生にも聽講せしむる事となれるは新記錄にして特記すべき事實たり、又

◇聯合演習の 際陸軍側にては[illegible]の諸築工事を務しつゝありしが一兩日前に竣工せり更に又兩聯隊及び野砲兵、騎兵中隊に於ては過日來より練兵場に於て豫行演習を務しつゝあり、然して京城方面より新練兵場に赴くには乘馬を驅る人は三阪通七十八聯隊及び

◇砲兵中隊の 中間の道路を前線に軍司令官邸前を過ぎて練兵場に出づるを得べく兵器廠橫より折れて前記の聯隊橫の道路に出づるもよし、徒步の人は三角地より陸軍官舍に向つて行けば[illegible]官舍前に出で[illegible]より行けば練兵場に到るにて最も近道なり

◎鮮人學生に軍事講話

陸軍記念日の新らしい試み

三月十日の陸軍記念日當日の龍山市中は例年の如く非常なる盛況を呈するなるべく、軍隊所在地の市民はこの日は特に敬意を表して各戶國旗提灯等を揭ぐるは勿論主なる商店は休業する向もあるべく更に

美人間諜（十）

容姿花の如き

大膽にも再び露都に顯はれた[illegible]皇后の離別を勸告した[illegible]ラスプーチン流刑

伯林夫人は伯林經由露都に往來する時は大抵瑞西を通過するのであつたが露都に行つた時[illegible]獨逸に[illegible]時は

◇猶逸人を 良人として[illegible]も逃れて居た關係で伯爵夫人は彼の潰離後三週間目に大膽にも再び露都に現はれたが其の時はワシルチコフ夫人も放免せられて居たので又た同棲する事となつた夫人等は最早一部に疑はるゝが[illegible]しやうか

露國帝と特別の關係を持つて居たから[illegible]恐れるに、憚るにも及ばなんだ處

夫れと同時に國習がワシルチコフ夫人の邸宅を嚴視すべき委員を任命したので夫人等も益々慌いて早速對抗手段を講じたが時既に遲く一夜突然監視委員等はワシルチコフ夫人の邸宅を襲つて殆んど秘密書類の全部を更らに橫奪して引き上げたそれが直に露國の

◇宮廷に 夫人等との關係は全く露顯して仕舞つた其の結果としてニコラス太公は八十人の露國人を[illegible]勿論伯夫人も其の手先か或は一味の者であつて其の內には[illegible]も居たが露國帝に參議で高き地位を占めて居た人も數人あつた

◇ラスプーチン が流刑になつたのも其の眞因は此處である太公の激憤は非常なものであつたから若し皇后が哀願しなかつたならば此の時ラスプーチンの頸は飛んで居たかも知れなかつた

◎飛降りて負傷

四日午後九時二十九分頃京城電氣株式會社の[illegible]行百十五號電車が[illegible]町一丁目附近を進行中乘客なる[illegible]町一丁目六十七番地[illegible]（二七）が停留所に至らぬうちに飛降りをなし面部に擦傷を負へり

◇大に狼狽 した若しも露帝が此忠告を容れでもすると夫れこそ大打擊である其處で夫人等も之に對する對抗策を講じて愈々とならば如何なる危險を冒しても其の決議に邪魔をしやうと

[illegible]が夫人等の陰謀は餘りに大膽で而して度々であつたから遂には露國皇族の若い連中の注意と活動とを[illegible]したのであつた或日の事[illegible]の皇族連は會議を開いて露帝に對し皇后の離別を勸告したのであつ[illegible]

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

一口噺

◎甲『歐洲戰爭はいつまで續くだらうな』乙『そうだね惡くすると來年になるまで續くだらうて』（一等）本町三丁目酒井商店內 川島保次郎

▲甲『四年目の强盜が捕つたさうな』乙『彼が出てくると[illegible]のだらう』 京城 芳南生

▲甲『[illegible]はかりだな』[illegible]『[illegible]ナニ[illegible]』 江原道金北 弱生

▲與太『[illegible]』 本町 凸坊

▲[illegible] 群山 黑火面

讀者文藝課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號及び氏名の外に住所氏名明記の事▲一等には五十錢の書籍券を呈す▲[illegible]

商況

東京期米持合 兵庫期米 大阪三品持合 大阪株式 大阪期米持合 下關期米 [illegible]

◎石油類昂騰 一躍七十錢方 ◎機械油値上 原油一圓五十錢方の引上 ◎釘氣強硬 燈油 ◎大連市場の投物 殆ど一籌 圓方引緩 大反撥力 ◎正米行閊へ 一百五十丁 大奔騰 鮮人筋 買手控へ人氣稍く行閊

下關相場 南大門の廻穀 仁川正米

◎大豆又暴騰 移出口の買氣旺盛 ◎更に五十錢方暴騰 ◎大麥小締り 十錢方 ◎砂糖更に小高く 需要筋の買氣を引立て前報後又一十錢方の上向き ◎洋灰徐々引締 手薄 徐々引締 ◎支那粟突飛 當分入荷 大活躍約一圓

釜山穀物（五日） 氣味安人氣を唱へ[illegible]裡に持合ひた[illegible]

▲釜山水產市場（五日）

仁川期米 低落 ▲六日前場 十錢さ二錢安 先二十一圓五[illegible] 天候晴 大高 昨止りより[illegible] 錢安の入電 押て不勢の成行 三十九錢

仁川米豆取引所 六日の五月限

市場雜觀 ▲昨後場は大阪[illegible] 今の腰入愈強硬 地場の當同意 從來の仕手と位置 轉倒 鋒貨に當り 軟軍の鋭 聊狼狽の氣味 茲に一頓挫 終に落を演出

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金高田神買店 仁川海岸町三丁目

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郞 仁川海岸町

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]仲買店 仁川海岸町三丁目

天氣 晴一時曇り

朝鮮人模範勞働團（下）

●大阪の鐵工場其の他に於ける

全羅南道巨文島出身の出稼人

斯るが故に雇主其他より非常に信頼され加之往々鮮人勞働者が口にする內地人の侮辱なる者は彼等の團員に對しては絕對に之を見ることは能はず目下三山面の勞働者と云へば總ての

◇內地人より敬意を以て迎へらるゝ狀態に在る由なるが斯かる有樣なるを以て彼等團員相互は非常に親密にして現に今回脚氣病の爲め止むなく歸鄕の途に就き途中右普通學校に且て三年餘教鞭を採り目下大邱なる慶北道廳に職を奉する某氏を訪ひたる同團員崔德坤(二二)が大阪出發に際し彼等は約四十圓を醵出して之を崔に贈りたる美擧あり尙前記崔は釜山より直接鄕里なる巨文島に渡航すれば非常に便利なるに拘はらず態々多くの時日と旅費とを費やして大邱に舊師を訪ひ僅かなる日給の中より澤山なる土產物迄買ひ調へ來りし其の

◇溫情實に美なりと謂ふべく之を以て彼等日常の素行を察知するに足るべし尙彼等は目下十八歲以上三十歲迄の者にして日給八九十錢より多きは二圓を得平均一圓二十錢に該當する由にて月々の送金も尠なからず爲めに一時さしもに悲境に陷りし巨文島民も近時頗る財政の餘裕を生じたる由なるが目下大阪に於ける

◇彼等の下宿料は平均七十錢にして彼等に對しては稍高價に失するに依り彼等は今回前記崔の歸鄕を幸とし同島委員會より適當の監督を附し約三百圓の資金を投じて大阪に於て鮮人下宿を開始せしめる希望を有する由なるが斯くする時は平均三十五錢乃至四十錢にて充分一日の食糧を得る由なれば假に從前に於て七十錢の食料を支拂ひたるに今四十錢にて足れりとすれば差引き三十錢丈け

◇彼等の利益となり之を全員百名と見做すも一日三十圓の利を得之を一年間に積れば實に一萬圓の巨額に達し之を鄕里巨文島に送金する時は同島民に及ぼす影響は實に大なりと謂ふべく尙又前記崔の歸鄕後にありては目下九十餘名の在勞者あるも近時前記寄附金の納入を嫌ひ果し尙其の殆んど之が經營に與ひ果し[illegible]例の金相淳氏の息にして目下在る者より三百九十圓の寄附ありしも之又殆ど全部

◇費消し盡したる爲め現今に在りては同校の經營多少困難に陷りきりとて同校を廢する事も出來ざるに依り彼等勞働團體にては之亦相當の醵金をなして

◇救濟の途を講ずべく計畫中なる由なるが目下一般に朝鮮勞働者なる者の世評最も寒心すべきものあるに際し彼等三山面團體の如きは實に其の模範とするに足ると謂ふべし(完)

兌換問題成行

◇面白からざる成行◇

▼に對する我が態度如何▲

隊て不換紙幣の濫發及び兌換廢止の亂暴なる申出を爲せる奉天支那官憲は日本總領事の抗議により種々善後策の協議中なりしが其の後支那官憲正月に入りたるを以て一時交涉を休止したり、然るに這回支那側金融調節委員より會合商議の申込あり日本人側も之れに應じ會見の筈なるが問題は右の中主として兌換問題の協定にあるべしといふ右に就き日本人側の意向を訊くに目下奉天支那側銀行にて行ひ居れる一日四萬圓の制限兌換は昨年八月十六日の協定により同月より向ふ一箇年半の期間を附しあり期間滿了後は一般紙幣制限兌換に應ずることゝなり居れるに這回未だ滿期をたらざる以前に於て兌換中止の申込あり現今の有樣にては契約期間後の無制限兌換は到底實行不可能と見るの他なくされば昨年協定せる金融調節辦法の規定により期日に至り日本側より一名の諮問員を入るゝと並に銀行の準備金を檢査することとの契約履行を迫らざるべからず然るに目下支那官憲にて當惑し居れるは右兌換問題に對し奉天駐在英米兩國領事よりも日本同樣に均霑したしとの申出にして此の問題は既に日本側と同時に申込みありたるものなれば支那側に於ても有耶無耶の裡に葬り去らるべくもあらず支那側にては愈よ最後の手段としては背に腹は代へられず斷然兌換の停止を敢行せんとするもの、如し然しながら目下の如く不換紙幣の濫發に次で制限兌換をも停止するは經濟上の動搖容易ならざるものあるべく一方三四百萬圓の保證準備金を日本側銀行に供託して何等かの便法を講じたしとは目下支那側の意嚮なるが如し

極て適當な人だ

◇新任白仁製鐵長官評◇

故押川則吉氏の後を襲ひ製鐵所長官たるべき白仁武氏に就き大塚業業氏の談に曰く

故押川氏の死因に就きては其の眞相を知るに由なしと雖も何れにせよ製鐵所內部に多少の暗黑面の存在する事は否認すべからざる事實なり尤も押川氏は其の處決を鋼片拂下問題に全然關係なきものと遺書ありたれど思ふに問題は單に鋼片拂下げのみに非ざるは論なく又押川氏の死は或は鋼片拂下げ問題より更に重大なる問題の申譯なるやも知れず兎に角同製鐵所內部の紊亂は想像するに難からざる處なり白仁武氏は此の際に後を襲ひて製鐵所長官に任せらるゝ事となれりと白仁氏は再三辭退したるも遂に推薦厚く辭退を許されざりしと聞く目下宦海に於いて製鐵所長官を物色するに白仁氏程の適任者を他に見出す事難し氏は政黨政派と全然關係なく全く純事務官の大なる人にして又極めて清廉潔白、信じて斷行する勇氣に富み兎角情實問題を生じ易き製鐵所等の長官には適當の人なりただ才氣縱横と云ふ事は白仁氏に望み難き處なれどそれ丈け氏は事に當りて確實なり眞面目なるを以て其の後を受けて刷清の任に當るには適當の人たる事を失はずと

滯貨八千餘噸

◇貨車益々沸底

近時滿鐵全線を通じて貨車沸底の影響より各驛の滯貨甚しく朝鮮全線にて現在三萬三千七百九十九噸の多きに達し輸移出上多大の支障を來し居れるが今京義線中新幕以北新義州迄の滯貨數を見るに六千百十六噸之に鎭南浦の二千六百七十四噸を加ふる時は優に九千噸に近きを示し居れり而して最も多きは平壤、新安州、沙里院、黃州、兼二浦、新義州等にして仕向先は何れも本州及び九州方面なりと

時局の爲め漸く市價動搖し始む

◇先づ大豆とルーブルと◇

露獨單獨講和成立以來獨勢力は必然東漸し來る可きのみならず最近時局は各國駐露使臣の引揚と與に內田大使の歸國等逐早く報道されたる一方支兵の北滿出動說亦た盛んなるを以て滿洲各市場に於ける經濟界は昨今頓に緊張の感あるも表面靜穩を持續しつゝありされど一朝時局切迫の來る如き事あらば影響容易ならざる者あるを以て各自大に警戒しつゝあるが最も頴敏なる刺戟を感じ居れるは特產物出界及び輸入商大手筋にて現に大豆其他穀類の如きは過般來軟狀態の傾きあるを慮り一時値段の下落を見たり又留紙幣は數日來市場に於て急激に需要を增加し價格の奔騰を來たせるが時局を見越せる思惑の反動に三月三日相場は前日の對留一圓小洋二十錢唱へたりしに對し三四錢方下落して十七八錢唱へに引戻せり之れを要するに目下時局は如何とも豫斷し能はざるを以て各自注意を怠らざる者の如し

新義州と檢疫

支那山西省及び山東省濟南府に肺ペスト猖獗を極めつゝあるを以て此が第一期豫防計畫として警務總監部に於て防疫方法を各道警務部に通牒せしことは本紙所載の如くなるが之に關し新義州に於ては檢疫委員支部を三月一日より新義州警察署內に設置し次の諸氏委員を囑託されたり

（新義州檢疫委員支部長、警務部長）委員（新義州府尹）、警察署長）守備隊長鈴木介、新義州驛長、大坂幸一郞、新義州府尹其他稅關吏、府醫囑託等三名

吉哈間に電話

吉林哈爾賓間に於ける長距離電話架設の件は哈爾賓を中心として時局の進展上最も急務なりとて既に督軍が中央の許可を得しとは既報の如くなるが其の實行方法に就て聞く處によれば吉長電話局總辦徐文林をして之を請負はしめ民間事業として經營せしむる事に決し目下電線の買入れを爲しつゝあり而して急速の場合にて電柱さへなく殊に冬期にて工事も困難なれば取敢ず吉林より双城堡阿什河を經て哈爾賓に通ずる從來の電信線を利用して之に架設する筈なるが開通迄には更に一箇月を要すべく完成の上は公衆電話も取扱ふ可く一通話四圓五十錢なりと因に徐文林氏は民間にありて事業を爲しつゝ吉督軍の顧問たりしに今回一等副官に進み中佐相當の武官となれり

鎭南浦經濟界

鎭南浦に於ける客月一般金融は例年結氷期のことゝて閑散の時季なるも本年は前月以來米穀非常の好況を持續せし爲め海上の交通杜絕中にも不拘岸物の買約旺盛を極め常に商賈の之が資金に多大の需要を見たり其他輸入商側も今尙結氷期仕入品代金の仕拂に關係の需要を見るあり頗る繁忙の狀態を示せり尙月末に於て切迫と共に各種資金の需要を喚起し盛況を呈するに至れり、市況一般商況は米及び雜穀の好況に伴ひ鮮農側頗る潤澤なる結果例年舊正月閑散期の記錄を破り諸雜貨の賣行良好を極めたり又米穀市場は結氷期とて荷動き捗々しからざるも近く解氷と同時に海運の便を見るに至らば輸移出に多大の盛況を齎すや明かなりと

龍岡の經濟界

平南龍岡の客月經濟界は舊歲末決濟期に當りしことゝて此方面の資金需要著しく增加せしと穀類棉花等益々昂騰一方なるを以て此等商品の出廻り頗る多く加ふるに經濟界好況の結果農民の購買力增進せる等に因り金融界は稀に見る活況を呈せり然し月末に及び舊歲首を迎へし爲め稍々平靜裡に歸せり上述の如く穀物棉花等出廻り順調なりしと季節物の仕入等に依て貨物荷動き活潑にして市況一般に殷盛を極めたり

人蔘とエキス

舊藥として其名嘖々たる朝鮮名物開城人蔘は大正二三年頃の暴落時代に於て著しく栽培力の減退せし爲め延いて收穫量も減少したるに其後開城人蔘の聲價內地市場に於て昂く需要筋亦增加の趨勢を示し俄然同地市場に荷捌底を告げ市價暴騰を重ね現時は約三割高を唱へ目下最上物十五圓中物十圓並物六圓見當にして賣行頗る良好なりと尙菊名千壽堂經房に於て人蔘エキスを製造し廣く販路の擴張を圖りつゝあるが昨年度の製造高は六七千個約八千圓にして尙着々製產高を擴大せしむる計畫なれば本年度は倍額の增進を見るべし

柳行李の原料

△西鮮產の杞柳

我國特有產たる杞柳は歐洲戰亂後歐米各國に於て其眞價漸く認めらるゝに至り今や斯界は世界的に發展進步し米國其他外國の輸出年を重ぬると共に增加せると內地一般の需要益々增加し市價昂騰に伴ひ市場在荷薄を告げ平壤の如きも製品に大拂底を來し一時旅行者を苦しめたる程の狀態を現したり斯る狀態に鑑み南町野路商店に於ては過般來但馬に專屬製造所を設置し之が製品を移入し居れども目下漸く潤澤を見るに至り然れども向後尙ほ內地市場の多忙と奔騰に依つては勢ひ當地方の杞柳を以て製造するの已むなき場合に遭遇するの時期到來するも近き將來にあるべければ已報の如く本道は殖產業獎勵上目下其の栽培を督勵しつゝあれば繼て西鮮地方產杞柳を以て

艀賃値上協定

此方面の需要を滿すの日も近きにあらんと觀測されつゝありと

鎭南浦に於ける現時の艀賃は築港完成當時より從前の噸六十錢標準を四十五錢に引下げたる儘にて今日に至り來りしものにて現今の物價及運賃の騰率に對し權衡を失ふものなりとし今開河期より三割方の値上を行はんとの意向にて目下南浦艀船主中に協議中なりと

平南桑苗生產高

平安南道大正六年中生產桑苗數は實生苗七百三十四萬二千百八十六本挿木三十五萬四千六百六十本にして之が生產及び販賣戶數は三百四十一戶前年に比し四百十八萬三千九百餘本の增加を見たるが道は蠶業獎勵上各郡設置の恩賜桑苗圃擴張或は各農會に於て新に桑苗を設け養苗せしに起因し將來益々多望と認められ居れり

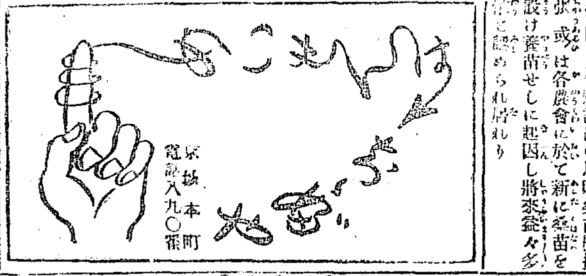
海員合格者數

仁川に於ける船舶職員試驗は去る三日終了せるが今回は志願八十二名中試驗合格者七十九名（中機關部一名を除き實際の受驗七十九名中甲板部合格者四十六名にして不合格者四名中甲板部）合格步合は機關部五割五、甲板部一割四步に相當す

台所のくふう

◇富貴豆の煮方◇

乾した豌豆五合をよく水洗ひしてそれを鍋に入れて被ぶる位の水を加へ火にかけて軟かになる迄よく煮て鍋の水が生ぬるい位になりました時小笊にあげて水をかけ冷ますと能くなります、それを手で米を磨ぐ樣にして皮を剝き捨て又再び鍋に入れ被ぶる程の水を加へて二三度煮こぼしてお鍋の湯を捨てそれに七十匁程の砂糖と四匁程の鹽を加へそのまゝ弱火で鍋の耳を持つて振り動かしながら煮上げるのです、斯樣にして煮汁が半分程になりましたら二勺程の醬油をさし一寸煮て味加減を見鍋をおろし蓋をあけずに五六時間も置きますと良く味が染みこんで美味しくなるのでございます



演藝案內

大正館

櫻井町 電話八七三

○日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 三月一日より四大寫眞提供 ○西劇「本町小町」全三巻 ○滑稽「デブ君の浮氣」二巻 ○大活劇「第五の鐵の爪」四巻 ○新派悲劇「己が罪」全六巻 [illegible]

黃金館

電話 二六三七 三六六

三月一日より大寫眞提供 ○泰西活劇「大金塊」 ○活劇「赤い蝶」 [illegible]

浪花館

明治町一丁目 電話二六○番

○毎夜六時より開演 京阪落語若手一座 △落語（遊三）△落語音曲（笑三）△手踊（三輔）△落語（右楽）△手踊（歌六）△落語、音曲（辰都）△大切（總出）[illegible]

有樂館

電話（階上）五九七番（階下）三〇五番 ○新劇「亂れ髮」 ○人情活劇「赤い逆・原名社會の賊」 ○日米親善「日出の國」終編二巻 [illegible]

稻荷座

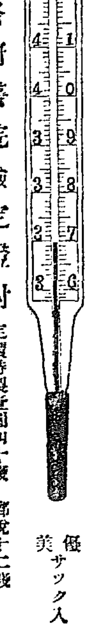
本町五丁目 ○御好に依り浪界の重鎭青年一派京山國土競演會 △宮永御前試合 △清州之花 [illegible] △巴忠之記 △鶴吉と力士の會 [illegible]

朝鮮總督府醫院檢定證附　定價特製壹圓四十錢　郵稅十二錢

本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確と技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證すに加之價亦廉也乞ふ贋偽に現はし徵せられたし

商標 PINE

パイン檢溫器　發賣元　京城太平通　振替京城三〇〇　電話長六六〇・三二六　京城日報代理部



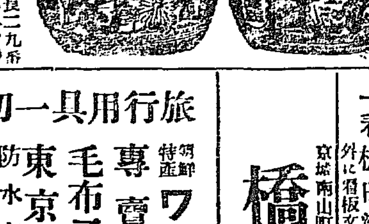
優美サック入

◎發熱と檢溫器＝家庭必備◎

△代表的模範 PINE 檢溫器▽

たんせき 良藥 セキドミン　貳拾五錢　五拾錢

醇良清酒



大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎

京城本町一丁目　特約販賣店　佐藤牧太郎　電話長二九番

旅行用具一切

朝鮮特產　ワングル製鞄　專賣品　柳製鞄　毛布一枚續 上物三圓五十錢以上各種　東京製鞄各種　防水布マント各種　魔法瓶及中瓶取替

鞄製造販賣

京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

橋本齒科醫院

京城南山町三丁目（電氣會社橫路入る）電話二九二〇番

日本齒科醫學士　橋本消次郎

京城府ペンキ塗請負業組合

一、ペンキ三回塗　金壹圓八拾錢以上
一、生漆二回塗　金廿五錢以上
一、看板　無（三尺に六尺）金四圓以上
一、看板上等椽付（三尺に六尺）金七圓以上
一、看板白塗（三尺に六尺）金貳圓八拾錢以上
外に看板文字記入代三尺に六尺に付九拾錢也

謹啓各位益々御隆盛之段奉賀候偖而塗料品類暴騰の爲ペンキ塗、坪單價左記の通り改正仕候條此段謹告候也

診察　自午前八時至午後九時

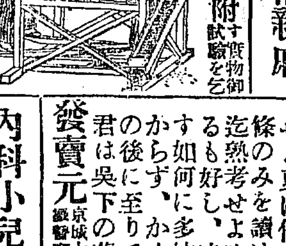
京城南米倉町　內科小兒科　岩崎醫院　電話二七六一番

分精米機

運轉安樂精白迅速信用ある方へ長期月賦貸附す貨物御試驗を乞ふ

△詳細圖入說明書は申込次第進呈

製造元　大阪西區市岡町東亞物產社



◎尋ね人◎

山梨縣北都留郡大原村大字小澤　長幡泰次郎

◎事件心配無し至急居所知らせ兵役に關係あり

猿橋親戚

明治九年開業

種苗農具　カタログ無代進呈

東京京橋三ノ橋　學農社

小生出發の際は御見送被下難有御禮申上候

三月六日　佐々木憲護

○霰彈○ストーブ　○魔法瓶中瓶取替

地方御注文は特に便宜御送付可致候

朝鮮京城本町三丁目

和洋金物商　佐藤半次郎商店

電話二四三番　振替口座京城一二二〇番

大町桂月先生監輯

六版　修養日訓

四六版三百八十餘頁　總布製箱入美本　定價壹圓貳拾錢　送料拾貳錢

桂月先生の序に曰く（前略）謹んで世の修養に志ある人々に告ぐ、一時に修養上の知識を貧らむとする勿れ、日々少しづつ自得して實行せよ更に他書を繙く人々に告ぐ、日々其日の條のみを讀め而も、熟讀せよ解らぬなら解る迄熟考せよ昨日以前讀み終りたる所を回顧するも好し、決して翌日以後の條を見るべからず、如何に多忙なりとも其日の條を讀まざるからず、かくて一日又一日、一月又一月一年の後に至りて一年前と比較して見よ必ずや諸君は吳下の舊阿蒙にあらざらむ

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

京城黃金町二丁目（長橋通角）

內科小兒科　外科一般　婦人科　皮梅科　花柳病

朝鮮病院　診療（入院隨意）（電話二八三七番）

大阪米電　末尾にて先限二十二圓三十七錢と三錢安に寄付五錢と辷り八錢返し六錢ご節大阪前止め戻り　△中限二節二十二圓二十三錢　△先限一節二十二圓二十二錢四節二十二圓三十七錢六錢

仁川米豆取引所　六日の四月限 [illegible]

連絡船上陸客　五日午後 [illegible]

五日前釜山入港高麗丸 一二等客 一等（五名）二等（三名）[illegible] 外人四名　大塚百右衛門、千葉 [illegible]

[illegible] 九日 十日 十一日 十二日 十三日　京城日報編輯局長者文藝係

見返告者には五十錢新刊…を呈す ●但何番何號と…記に限る ▲死者は [illegible]

塚原卜傳

第八席　悟道軒圓玉口演

膝丸入道圓海に於ては小太郎の一言を聞くより烈火の如く憤り『圓、さては思ふに違はず塚原にてあつたるか、假令上泉の龍虎なりとて何程の事やあらん、眼前逃さぬ弟子の仇、逆縁なから師海が、日頃手馴れし金剛杖を以て、此世の暇を取らせ呉れん』と傍に立てたる六尺の金剛杖を押取り、道場の眞只中に躍出で、風車の如く打振つて、大上段に振り被り、サア來い來れと身構へたり、小太郎ニツコリ笑つて『小癪なは圓海逃るかと思ひの外立向つたは健氣な奴イデ〳〵勝義が木劍を受け、潔よく往生せよ』と大音に罵り、枇杷の木劍を中段に付け、ヂリ〳〵と詰寄つて互ひに氣合ひを計り、ヤツと一喝飛込んで小太郎が只一打と打込む木劍、小癪なりと圓海金剛杖にて拂ひ退け、執直したる小太郎が突かんとするを飛違ひ、大喝一聲微塵になれと打下したる金剛杖、正面に受けては堪らぬが早速小太郎身を開いて空を打たせ、流れる小手に突入つて拜み打に打たんとする、圓海もさる者拂ひ上げ拂ひ退け、打てば捲き開けば突入り千變萬化の秘術を盡し、圓海獅子の怒りをなせば、勝義虎の勢ひを揮るひ十五六合打合つたが更に勝負の色見ねず、圓海焦つて金剛杖を執直し無双拂ひに引拂つて來る處を心得たりと小太郎飛足を縮めて飛鳥の如く飛上つたる時は見ぬ昔美濃國青墓の野長者の宿に於て熊坂長範を討たる牛若丸が働きも斯やと思ふばかり、エイツと一撃腕も折れよと打下したる木劍のために、さしもの圓海の鍾を開く間もなく腦骨微塵に打碎かれ、兩眼飛出し、七穴より血を吐いて二言と言はず打倒れ、其儘絶息した、實に物凄き働きに並居る面々師の仇と立向ふ勇氣もなく、ソレ逃ろと蜘蛛の子を散すが如くに逃散する、小太郎大音に『ヤア〳〵一山の修驗を承はれ、汝等が師と頼む圓海は塚原小太郎が打殺したり師の仇を報はんと思ふ者は來つて尋常に勝負いたせ』と呼ばりましたが已に一山逃去つて答へる者もない、小太郎其儘に道場を立出で道場を去らんとする、處に最前塚原のため打倒されたる龍王堂の金山、能登坊雲海、讃岐坊智海起上つて大に驚ろき『ソレ金剛圓海の仇逃すな』と法螺貝を執上げて空に向つてブーツブーツと音も高く吹上げる、之れは合圖の貝で一山に事ある時は吹合せる掟ての約束、其音を聞いて一山の山伏、ソレ騒動出來したり行け行けと彼方の谷此方の峰坊々よりして驅出したる修驗者二百八十餘人、ワーワツと集まり來つて得物々々を押取り、逃さじと追來る、小太郎勝義踏止まつて身支度なし、執直したる木劍大上段に構へて、サア來いと立向ふ、ソレ師の仇と四方八方から打込んで來る處を飛上つて氣合諸共右と左りへ打倒す前から來る奴は木劍の切尖で刎飛し、後ろから來る者は擽搭つて薙立て、四角八面に荒廻る、最前より數多の闘戰にさしもの木劍毀が付いたものと見ね物打際よりボッキと折れて飛散つたり、ソレ敵の得物は折れたぞと盛に懸つて打込んで來るを一足退がつて腰に差したる重代の、波平行安の業物柄に手を懸けスラリと引拔き『小癪な此上は腕の續く限り目釘の續く限り、切つて〳〵切捲り、羽黒山伏の死骸の山を築いて呉れるぞ』と仁王立に突立たる有樣、猪口才なる塚原が騒動ソレ總懸りに打殺せと群がり立つて取卷くを、推參なりと小太郎、バツタ〳〵と薙立て突伏せ千變萬化の妙術を顯はし、前後左右に切つて落す、刀は業物腕は冴へたり死骸は積んで山となり、血は流れて川をなす、二百八十有餘人の羽黒山伏塚原一人に切立てられ、或は腕を打落され或は足を切折られ、右往左往に散亂なす。

三月八日　九星
舊正月廿六日甲寅
本命三碧東遊友引

▲三碧●年分氣取の事利付謹て新築見合坤の方は凶出行東▲四緑●利運の日轉居入學旅行見合命仲造船求縁結旅吉▲五黄●暗嘩腰に來る者に新事手出爲は害有る品を守らるべし▲六白●苦の日新事手控爲事は吉縁生に注意せらるべし▲七赤●不縁な事は新事手控商事は吉女子は行儀を守らるべし▲八白●大力異の事有勤務手控商事はしく又說財を防かるべし▲九紫●堅固なる日轉居旅行入門名聞求移徙普請縁結吉▲一白●諸有日轉居行商入門名聞求職命造船吉▲二黒●女難失物用心の日新事手控當日は吉一切のかけ事せぬがよし

職業

原紙賃與（外國）出特許品遠近明
女自宅で出來る
無休熟日收壹圓
見本郵十錢送（一）
以上實況寫眞說明
特約店募集
東京本所郵便局前
上田總本店

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
京城府明治町二丁目四八
鯨問屋　香月商店
振替口座京城四八四六番
◉特約店希望の方は申込あれ

りん病

日本一
東京特許局實用新案
生殖器障害も同器で治る
自宅器械療法
內服藥も洗滌藥も挿入藥も效力の遂せぬ尿道粘膜內の奥竅に潜伏し頑々人を惱ます慢性淋病の徴菌を殺し十七年の慢性を易く治し包皮を癒る手輕に治す安全器械療法あり說明書無代
東京京橋本材木町三新療法研究所
大阪市北區北森町壹新療法研究所
京都市魚棚停留所前新療法研究所

眼の惡い人 眼を使ふ人

目の健き人も此記事を讀む必要あり

■新しい目藥　あなた方の眼の惡さは種々でせうが併しその眼の種々の惡さに誠によくきく目藥が今度新しく健腦丸で信用の厚い丹平商會の製藥工場の藥學者の手で研究されて賣出になりました、それが直治水でありますが此目藥には三大特長と言つて眼科藥界新藥を配伍されてある事、タッタ一瓶で効驗現はる、事、根本的に視力を強くする事、との外に無い三つの條件を具備してゐる理想的目藥であります

■目の病種々　此頃は時候の所爲でのぼせ眼が多く黒眼といつて黒目と白目との間に黒目の出る病、黒目の中へ星の出來る病、それから俗に言ふものもらひ、爛眼、つき目等も中々多く殊に誰も知つてゐるトラホームは益々多い、直治水は是等種々の眼の病に非常な効を奏す事が早くも世に認められたのであります

■眼病を防ぐ事　これからぽか〳〵暖かになつて自然外出が多くなると外の砂や埃は眼に惡くそれに強い太陽の光が眼を刺戟しますそれ故眼の病のある人ばかりでなく眼の性の惡い人平生眼を多く使ふ人々は特に用心して直治水を一日一回宛點眼して置けば眼の病を防ぐのに宜しいのです

■誠に親切な目藥　斯く偉効のある直治水は亦最も親切に出來てゐる目藥です、瓶は勿論點眼器其他凡て一々殺菌消毒したのを添へてあります、強ち良藥でも腐敗したり効力が失つたりする事はありません、眼の惡い人眼を大切にする人は早く直治水をお用ひなさい、從來經驗にきく目藥に出會つた事が無いといふ事が直ぐお解りになります、藥價は小瓶十錢、大瓶廿錢、使用ある藥店に賣つてゐますが若し無かつたら大阪心齋橋筋二丁目丹平商會本店か大阪東區平野町二丁目丹平商會分店か東京市日本橋區箔屋町丹平商會支店かへ直接御注文を仰ぎます

■眼と腦との關係　何か頭のある醫學博士の說に眼の病を治した爲め腦神經の病が全快した例が澤山擧げてあります、されば平生腦や神經を劇しく使ふ人は眼に就てよく〳〵注意をする傍ら丹平發賣の健腦丸を常用なさい、腦病藥としては是が一です。

外科花柳病　內科小兒科　婦人科
宮崎醫院
京城南山町二丁目電話三〇六八番

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生　普成商業學校講師　西村眞太郎著

日鮮會話精通

袖珍總クロース類美本　七百餘頁　定價金壹圓參拾錢

◎世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は遂に本書を購求せられよ。

一、曩に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の內容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渴望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所　京城本町通一丁目　振替京城二〇〇番　京城日報社代理部
取次所　嚴松堂　大阪屋號

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
京城明治町一丁目
代理店　醬油・酒類　山邑京城支店
電話八四九番

外科 皮膚科 瀬戸醫院
京城旭町二丁目（新三丁目）　電話二四九八番
（診察後九時迄）
醫學士　瀬戸潔

弊社は約三十年間廣告代理業を以て唯一の業務とし左記の部門と內外樞要の地に諸種の廣告機關を有せり御一報次第廣告案內進呈す切に御利用を乞ふ

部門	意匠、文案、翻譯、顧問	
直接取引新聞	內地臺灣朝鮮滿洲	三百三十餘
	英米支那印度南洋	百五十餘
全上雜誌	內外各地	百四十餘
屋外廣告	大阪市內揭示場數箇所	
代理店	倫敦、紐育、市俄古	

廣告代理業　大阪高麗橋四丁目
萬年社
電話南長六九〇・六一九〇六二
支店　東京・京都

MITSUWA YUKINO SHIZUKU.
(Eau de neige)

Skin tonic, strengthening and beautifying the skin. Mitsuwa Yukino Shizuku (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small, muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. If Mitsuwa Yukino Shizuku is applied every day, the skin will not be harmed by the sun and the complexion will be bettered.

Price ¥ .30

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥
◎ミツワ雪の雫
（みつわ・ゆきのしづく）

主效
皮膚を強健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚皸、胝、皮膚龜裂、皮膚皴裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、擦毛、疵、濕疹、蕁麻疹、粃糠疹、苔蘚、白癬に奏効す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ、臭氣を消し、
▲肌膚の硬くなつたのを溶かして肌膚を柔軟に滑澤になし
▲肌膚から出る脂肪を除いて潤澤になし、肌膚を緊縮めて緻密になし卽ち肌理を細かにし、肌膚の血行を良くして其の色澤を麗しくし、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し肌膚を包み擁つて外から來る刺戟を緩げ
▲肌膚の乾燥を治し龜裂などを防ぎ、黴菌や塵物の入込むのを止め、肌の榮養を旺盛にして、健康な肌膚の新しく出來ることを促すから、前に擧げてある諸種の皮膚病に良く効き、肌膚を強健く清潔にするのであります、又
▲白粉を塗る前に肌膚をミツワ石鹼で洗つてから、之を擦込むやうに塗り暫く經てから湯水で緊く搾つた手拭で伸へるやうに輕く拭取り、それから白粉を塗るとのりものびもよく、生々とした化粧が出來る肌膚になります。

定價　金參拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ
（現品縮寫圖）

■肌膚を整へる藥液
美しい上にも美しく化粧するのは誰しも望むことですが唯紅や白粉を塗るだけでは眞の美は得られません。何でも土臺が肝腎ですが化粧も同樣に平素から土臺の肌膚を整へるのが大切で、其對化粧の秘訣は肌膚を整へることであります。それには肌膚を清潔にし大切にし、天性の肌膚を傷はぬやうにするので、毎朝の洗面、日々の入浴、化粧の都度、品質が良くて刺戟が無く日本人の肌理に適つてゐるミツワ石鹼を使ふことに略定めて、肌理の汚垢を落してから、芳香健膚劑のミツワ雪の雫を手に滿らし之を顔や頸又手に擦込むやうに塗り、暫時經てから湯水で堅く搾つた清潔な手拭で、吸込まれぬ餘分の藥液を輕く拭取ると、肌膚が整へられ、潤澤に柔軟に滑澤になり、肌膚は細かく色澤は麗しくなり小皺を防ぎます。生々とした化粧が出來ます、それ故美しい上にも美しくなるには肌膚を整へるやう、ミツワ雪の雫を缺かさず用ひる事が最も肝要であります。

登錄商標
滋養强壯　芳香美味
◎蛇の目印ポートワイン

（現品縮寫圖）

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を増し肉を肥し殊に誇るべきは精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養强壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舗、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元　洋酒 煉乳 食料品 家庭藥 鑵詰 雜貨 直輸出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
㋕松下善四郎
電話本局一八五　長一八六　長八二〇
電信略號マツセ　振替口座大阪一六番

汽車時刻
京釜線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
湖南線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
京義線（北行）[illegible]
同（南行）[illegible]
京仁線（仁川行）[illegible]
京元線（北行）[illegible]
同（南行）[illegible]

第五版

京城日報

三月七日朝刊
(朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ケ月金五十五錢△郵稅一ケ月分金十五錢△三ケ月分金[illegible]
廣告料金 △五號活字十五字詰一行八十錢△七號活字二十字詰一行一圓六十錢[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社 電話 編輯用二三四五番 營業用二三六番 振替貯金口座京城三〇〇番

仁川米豆取引所
六日の四月限
[illegible]大阪入電未著にて先限二十[illegible]錢二錢安に寄付[illegible]六錢二節大阪前止め戻り △先限一節二十二圓三十七錢六 △中限二節二十二圓二十二錢四節[illegible]二十三錢

遊支偶錄

(四七) 中央銀行の創設

蘇峰生

將來はいざ知らず、今日の所にては、支那人は會社的資格を有せず。彼等は個人として、洵とに拔目なく働く也。併し一旦協同事業となれば、乍ち其の會社を喰うて、私腹を肥さんとする也。此れは社長、重役より、小使、苦力に至る迄、殆んど一貫、徹底したる傾向也。洵とに笑止千萬の事なれども、事實なれば致方なし。

斯る次第なれば、銀行の如きは、其の重役先づ自から銀行を喰物となす也。されば其の仕掛が、大なれば大なる程、其の禍害は大なる也。果して此の觀察にして、大過なしとせば、幣制改革借款の前途に就ても、吾人は頗る悲觀せざるを得ず。是れ恐らくは、泥坊に追錢の類ならざるなき乎。

今日に於て、先づ物に成り居るは、サー、ロバアト、ハートによりて組織せられ、今尙ほ英人アグレンによりて總轄せらるゝ稅關と、デーンによりて主宰せらるゝ鹽稅務のみ。是れ一に外人の組織的監督の下にあるが爲めのみ。されば支那にして眞に貨幣統一、金貨制度施行の目的を遂せんと欲せば、須らく其の中央銀行を設立して、之を支那人以外の監督者に、一任せざる可らず。此の如くして假すに、數年を以てせば、既に支那の天然の資源と、民庶の殷盛あり、其の成功や斷じて疑を容れざる也。

但だ憂ふ可きは、支那人は寧ろ通貨界の亂脈なるを利用し、其間に奇利を博せんとする者多きと、政府の根帶動搖して、貨幣に關する國是の、確立せざるとの爲めに、折角著手し始めたる此の大事業も、中途にして沮敗するとなきを必せず。されば若し此の事業に著手せんと欲せば、寧ろ一大覺悟を要す。著手して失敗するよりも、寧ろ著手せざるに若かず。

工業動員とは何ぞや (一)

△動員と云ふ 文字はモビリゼーションを譯したものでモビリゼーションとは移動の意義を持つて居るので開戰に際し平時定員を戰時定員に移す爲め人馬を充足しなくてはならぬ此人馬の員數を移動することを動員と云つたのであるそこで從來の動員と云ふ意味は人員動員(無論馬匹、材料等をも含む)のことであつたが今回の歐洲大戰に於ては實際の必要から其意義が擴大されて人員動員の外に工業動員、產業動員、鐵道動員、船舶動員、金融動員等種々の名稱が顯はれて來たのである、苟も國を擧げて戰爭をするに方つては以上に述べた各種の動員を實施しなくてはならぬ之を國家總動員と云つて居る、現に交戰各國が如何に國家總動員を行つて居るか如何に苦心慘憺戰爭を繼續しつゝあるか、國民としては是非各交戰國の內情を具に觀察して今回の戰爭に於ける英國や佛國のやうに周章狼狽し、又は屢々失敗するやうなことのないやうに次の戰爭を準備しなくてはならぬ

△國民的戰爭 となると軍人のみの戰爭でない、一般國民は無論青少年の婦人も現に各交戰國民總てが如何に艱難辛苦しつゝあるか、其實況と國難に處するの手段方法とを研究し有事に際し國家總動員に應じ得るの覺悟がなくてはならぬ

△國家總動員 の事を茲に簡單に述べんとするは困難であるが今次の議會は貴衆兩院共議員の軍事思想が餘程進步し、當局者に向ひ工業動員の事などに就き質問した向もあるが、遺憾ながら質問者に工業動員なる意義が能く分つて居ない、之に對する當局の答へも予は速記錄を調べて見たのでないが、單に新聞で讀んだのみであるから何とも云へないが、矢張り不徹底の點が少くない是予をして一般社會に向ひ茲に工業動員の事を話さうとすることゝなつた動機である

△工業動員 と云ふことは我々軍人も今回の歐洲大戰に依り始めて承知した次第であるが獨國では平時より其計畫がしてあつた英國は無論の事であるが佛國でも露國では工業動員の準備がなかつた爲め開戰となつてから非常に狼狽したのである

△他彈の準備 丈で云つても開戰前に於ける準備は頗る貧弱であつた佛國は平時部隊の有する野砲總數が約二千五百門であつたが之に對して一門に付約千二百發乃至千四百發其總數三百萬發を準備してゐて、其補給の爲め開戰後の彈丸製造力を一日約二萬發として計畫してあつた。是れ丈けあれば大丈夫と信じて居たが開戰後からマルヌの會戰の終りまでの間僅に一箇月有餘に二百萬發を射盡してしまつたそこで大に狼狽して工業動員を行ひ艱難辛苦して兵器彈藥の製造力の增加に極力奮鬪し現今では彈丸の製造高計りでも一日卅三萬發に上つたとの事である

△英國 でも兵器彈藥の補充に困難は感じたが元來開戰當初の出征軍隊の兵力が寡少であつたのと開戰後に於ても原料の供給には豫め[illegible]しなかつたのと追に平素に於ける民間の工業能力が偉大であつた爲他の交戰國のやうには甚だしく困難をしなかつた、それで最初の間は工業動員を行はなくて戰爭を繼續して居たが軍隊が增加するに從ひ益々兵器彈藥の需要を增大し遂に開戰後十箇月に至り始めて工業動員を實施したのである

△露國 に至つては其不準備が最も甚だしく兵員の半數も小銃を持つて居ない步兵聯隊があつたと云ふ始末、又戰場に在る砲兵が彈藥が缺乏した爲め砲車を後方へ退けて休んで居つたと云ふ次第で、殆んどお話にならなかつたのである(某將軍談)

防寒建築案募集

締切は愈來る十五日=四月一日發表

◇建坪 四十坪乃至五十坪迄 但し二階建設計の場合も延坪が此制限より甚しく超過せざる事
◇家族 夫婦老人一子供三女中一計七人暮しの住宅
◇提案 平面圖、正面圖、設計說明書等を具備す可し
◇工費 坪當り百圓內外とす
◇特案 特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書
◇寒度 京城=平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

(1)一人一案に限る=(2)應募者諸君の提案條件は、使用者最も多き中流家庭の住宅を定型とするも、旅館、料亭等に特殊建築として提出するも可=(3)應募者は必ず一案の平面圖、正面圖及び之が設計書を附せられたし=(4)應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し入選の場合新聞紙上發表の際は希望に依り匿名差支へなし=(5)締切期は來る三月十五日とす=(6)發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄設計圖、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す=(7)應募者は「京城日報社編輯局建築案募集係」と朱書ありたし=(8)投案原稿は返戻せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の懸賞を以て我社は發表の當日謹んで賞金を贈呈す

一等(一名) 金百圓 二等(一名) 金五十圓 三等(二名) 金十圓宛

忘機吟壇

黃州途上 松田學鷗

霏微雪光積。大江霞氣浮。靑松連赤壁。白鷺下黃州。滿目皆詩境。呼誰到酒樓。蒼然來暮色。笑指月波樓。

竹隱曰、一氣貫注、具極跌宕之妙、學圃曰、第五一見如凡、然非此不足緊應前半、天隨曰、前半一氣呵成、結二句、情韻更生動、

初春出遊

一枝玉笛玉梅標。正是經寒二月天。曉出柴門春若水。露螢流在酒旗前。 結句當不及

治春詞 趙重傑

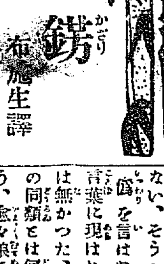
桃花楊柳映江流。十里珠簾樓又樓。綺夢紅情春未減。二分烟月一揚州。 句句綺麗

同

酒家簾外水迢々。已有輕舟穀雨橋。北岸桃花南岸桃。春風九十九紅橋。

見夕陽ナ詩ナリ 右羽溪春窗

錺



布施生譯

十一

娘を邸へつれて歸つた學士は早速岡松と云ふ巴里一流の醫師を賴んで充分娘に手當をした、學士のやうな位地にある人は何事につけても便宜が多い、醫者も一生懸命に力を盡してくれて娘は間もなく氣力が回復した、もう大丈夫と見て取つた學士は親切に娘を勞はり勵ましてそれから段々仔細を尋ねると娘は淚ながらそれでも感心に順序を立てゝ遠慮もなく昨夜の樣子を物語つた、

昨晚は十時過臥床に就いたが一寢入したと思ふ時分嚴く部屋の戶を叩かれて眼を醒すと織衞の聲で『師匠が大變な怪我をしたから直に來て下さい』と云ふ、驚いて夢心地の儘父の仕事場まで跟いて降りると父は寢臺に寢かされて眼を瞑り咽喉の奧で苦しさうに息をしてゐた、自分は思はず泣聲を立てゝ縋付かうとすると織衞は目顏で聲を出すなと止めておいて父の上衣の胸をあけた、自分は其時初めて父の下著がひどく血に染みてゐるのに氣がついた、其內織衞は藥を出して父の左の胸の突傷に塗り其上を繃帶すると父は眼を開いて孔のあく程自分の顏を見詰め次で長い間傍に跪いた織衞の顏を見てゐたが軈て二人の手を把て一つに束ね兩手に挾んで強く壓した、自分は嬉しさ悲しさに物も言へず泣いてゐると父は少し身を乘出して何やら言ひたさうな氣色であつたが到頭何を言ふ暇もなくばつたり身を落すと其なりで息は絕えて仕舞つた、織衞に聞くと昨夜不圖公園通りで父が曲者に刺された所へ通合はせ、曲者は捕へ損なつたが倒れた父を介抱して重い身體を肩にかけやつとの事で宅までつれて歸つたのださうであつた夜が明けて泣聲に氣がついた近所の誰彼が駈付けてきてくれた時は二人とも父の死骸の傍に跪いて呆然してゐた。

娘はそれから言葉を盡して織衞を辯護した、あの優しい正直な織衞がどうして父の身體に刃を中てやう、父を殺したのは曲者で織衞は父を助けて歸つたのに相違ない、もしや眼前で織衞が父の身體に刃を刺すのを見たとしやうか、織衞がとても其樣事をする筈は無いから自分はそれを惡魔が織衞に化けて人目を眩ましたのだと思ふ外はない、そうまでに言切る娘の眞僞を言はぬ性質は自づから顏や言葉に現はれて露疑を容れる所は無かつた、之が恐ろしい親殺しの同類とは何處から見て思はれやう、愈々娘と織衞との無實を信じた窓井學士は意を決して特別裁判所の所長禮衞を訪ね意見を陳べて二人の赦免を求めた、

禮衞は不愛想に聞いてゐたが聞了ると皮肉な笑を迸らせて『成程深く事情をお究めなさらずに人情一點張で物事を觀察なさらうと云ふ御婦人方のお考では織衞が無實のやうにも見え情夫を助けたさに泣く娘の容姿が憐れなやうにも思召されましやう、しかし警察眼を具へた私共から見ますると御氣の毒ながら織衞の師匠殺しは一から十まで證據が備はつてもう裁判が確定したも同じでございます、お前でなくば誰が師匠を殺した、誰だか存じません、でもお前は師匠が殺される場に通合せたと云ふでは無いか月明りにでも曲者の姿位は分りそうなものだ、でも私は二十步ばかり後れて跟いて行きましたから、何故そんなに遲れていつた、それは師匠がそうしろと申しましたから、それぢやあ通合はしたのでは無く跟いて往つたのだな、何用があつて跟いて往つた、第一師匠がどうして其樣深夜に出步くのだ、お前の師匠は每晚九時頃には戶を閉めて寢る人ではないか、はい其理由は、うむ其理由は、それはどうも申されません、どうです此怪しい申條は當人はそれでも餘程執拗い奴と見えまして中々白狀致しませず神々まで誓に立てゝ身の潔白を泣いて語りますが急所〳〵を推して問詰めると一つも答へが出來ずにぐツ〳〵と詰ります、

(◇雜誌抄)

◇英國の理髮(美) 獨逸にしろ英國にしろ我等の理髮法は頭の形を土臺にして、それに應用する樣に刈り込む一方に其人の顏の形にも合して不調和の調子を[illegible]ると云ふ事になる、氣持の好いのは時間的に非常に早い事で、急げさいへば二分間に鮮かに仕上げて呉れる(生田葵氏)

◇鼻血が出た時(我家) 頭を下げぬやう靜かに寢かし、燧火の近傍へよらぬ樣氣を靜かに持つて明礬一ツに水百の割合で冷かしたのを綿に浸ませてソツと捩つて鼻につめておくとよろしい。

商業登記公告

商號『和田商會』ノ使用者佐渡秀光ハ大正七年貳月貳拾日商業ヲ廢止シタリ
主人佐渡秀光ハ大正七年貳月貳拾日支配人柿沼幸之助ヲ解任シタリ
右大正七年貳月貳拾七日登記

朝鮮銀行ハ大正七年參月壹日支那奉天省鄭家屯北大街ニ支店ヲ設置シタリ
右大正七年參月壹日登記

東洋拓殖株式會社ハ大正七年貳月貳拾四日關東州大連市百拾貳區第貳拾六號地ノ支店ヲ關東州大連市第百拾壹區參拾八番地ニ移轉シタリ
主人株式會社朝鮮商業銀行ハ大正七年壹月貳拾四日支配人川崎良太郎ヲ解任シタリ
支配人選任。支配人ノ氏名住所京城府本町壹丁目拾八番地池邊竹次郎
主人ノ氏名住所京城府南大門通壹丁目拾九番地株式會社朝鮮商業銀行
支配人ヲ置キタル場所京城府本町參丁目拾八番地
右大正七年貳月貳拾四日登記

商號新設。[illegible]
商號丸天大昌運送店、營業所京城府南大門通五丁目六番地、貨物運送及委託品販賣[illegible]
商號使用者ノ氏名住所京城[illegible]
右大正七年參月五日登記

京城地方法院

昨六日小生出發の節は御繁多に不拘態々御見送被下感銘之至に奉存候 乍略儀紙上御禮申上候

淺見倫太郎

新刊 朝鮮錢史 藤間常平應著
高麗朝迄の部 定價九十錢 送料二錢

著者の古錢研究に沒頭するや既に年あり今や其秘蘊を其見識とは一方の權威として斯界に喧傳せらる本書は錢貨學(Numismatics)の見地より編纂せるものにして啻に貨幣史として古錢良書たるに止らず考古學上好個の著述なり殊に其收錄の鑑圖は近時發見の珍貨を網羅し著者秘藏のもの尠なからず其高麗鑄造の金銀及銅鐵錢等に關する創見は愛泉家の蒙を啓くや大なり

大阪造幣局技師甲賀博士より著者に寄せられたる署評に曰く『考證斬新頗る從來著述者の蒙を啓くに足る』と

販賣部數僅々百部に過ぎされば至急本代理部に申込あれ

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮彙報 大正七年三月號 每月一回(定價二十五錢 郵稅一錢五厘) 廣告料 一頁金七圓 販賣店 朝鮮內地各書店

口繪 ▲釜山第二棧橋工事▲元山築港繫船岸壁築造作業○忠南學布品評會出品物陳列の景
▲肺結核豫防の規則制定 警務總長 古海嚴潮
調査及研究 ▲大正六年朝鮮經濟狀況(附歲末經濟狀況)▲洗浦高原の植物…(總督府技手 石戶谷勉)▲扶斯の發生時期…(伊藤賢三)▲南原戰史…[illegible]▲鎮南浦の游泥…▲大正六年陸接國境貿易概況
▲女學校長に對する總督訓示
地方事情 ▲忠南學布品評會…▲府郡聯合物產品評會…(咸鏡北道報告)
▲兵制度に對する所感 總督府 渡邊彰
雜錄 ▲遞信事業概況(大正七年一月分)▲年末年始に於る通信狀況▲一月中の鐵道運輸▲地方費賦課金徵收規則改正▲道郡島書記講習會狀況▲高等女學校長會議▲道學務主任打合會▲朝鮮不動產登記令施行▲王世子殿下歸東▲紀元節祝賀▲新著圖書
▲支那視察談 京都帝大文科教授 內藤虎次郎
統計 ▲人口統計(承前完)▲大正六年各港別貿易概況▲各府府稅滯納別▲十二月中朝鮮貿易▲十二月中經濟概況▲外國貿易額調▲鐵道運輸▲旅客出入▲釜關連絡狀況▲判決[illegible]

取扱 京城本町 ウツボヤ書籍店 電話二五二七番 振替京城貳三〇

字さがし 懸賞募集
問題 此廣告中に萬の字が幾字あるか
賞 正解當選者一人一本限 合金ペン萬年筆(自働吸入)[illegible]ラクリツプ付ペン一本 美術布入五百本提供す
解答發表 解答はハガキに限る宛名は大阪北堀江ヤマト商會〆切三月二十日限先着順當選者に通知す
主趣方法 [illegible]

募集 第一學年無試驗編入 幼年保護の特別寄宿舍あり
京都中學校 京都市岡崎町

新學期開始(通信教授) 會員大募集
支那語
六ケ月にて精通す 全部三冊要點に於て一時に逐一 本會の成功の早道 會員卒業者は日支貿易協會にて特待す
(會費)三ケ月一圓四十錢 六ケ月二圓五十錢 振替大阪二八九九四 大阪東區淡路町
日支通語會

蠅の發生期迫る (發生前に使用するを以て理想的とす)
理想的蠅蚊蚤の驅除劑
◎ST式固形石油乳劑(除蟲菊加用)
定價半打入十五錢 一打入二十八錢(別に棒型德用品あり)
◎本品の効力に就ては確固たる自信を有し內地は既に東京府を始め各府縣に使用せられ朝鮮は本年新たに京城其他の各地に使用せられんとする向少からず、始めて試用せらるゝ向にして多少共疑有之は警務總監部へ御問合せあれ
一、本品の特長は蚊蠅蚤の驅除に適し便所芥溜の惡臭を去り農作物園藝等の害蟲驅除に有効也
一、本品は溶解簡易にして石油は完全に水に混和し固形體なるを以て運搬に便利にして危害なく又發火の危險更に無し
一、使用法 本品一個を熱湯一升に溶解すれば百倍液となりて殺蟲劑となり農作物用としては百倍乃至三百倍のものを使用す
朝鮮總發賣元 京城本町 熊平支店 電話長六二四番三一一五番 振替京城二二二番

京日案內
普通一回 南金五十錢 番外一圓 [illegible]

▲配達人募集 但し內地人希望者至急來店あれ 明治町二丁目十三 朝日牧場 479
▲古著 古服 高價買入御報參上 黃金町二丁目 電取次二貳三 木村興 480
▲仲居飲名至急入用 料理店向年齡三十歲以上 但地方の方希望者は 京城南山公園美人茶屋
▲植字日鮮人數名入用 旭町一 中島印刷所 464
▲かき賣子募集 京城旭町一丁目電話一八五二番 橫山兒弟商會
▲外務員男女を問はず至急入用 希望者は本人來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞社 47
▲助手藥局生看護婦入用 希望者本人來談 仁川 松本病院
▲代診生藥局生至急入用 但し經驗ある者履歷書携帶本人來談 仁川 佐藤病院
▲校正係日鮮人を問はず至急入用 希望者來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞社印刷部 475
◎貸家 水標橋南川端地坪約百坪事務所及住宅好適庭園有水道付家賃廿五圓(電九八九)犬島 474

恩給年金立替 手續即時 五年迄 三年迄保險不要 京城南大門外 (舊)御成町 山口屋 電話二六八八番 324
恩給年金立替 五年迄 三年分迄無保險 京城若草町 電話三九一 國江商會 476
枇杷樽 中古一石五個 二斗二十個 五斗十三個あり安く賣ります 京城明治町一 電二五三五番 高尾商店
助產婦生徒募集 希望者は履歷書持參來院されたし 京城北米倉町 京城婦人病院
英佛獨露希羅語 夜學生徒募集 京城太平町二丁目七十三番地 外國語夜學校 476
○中古ミシン買入 御用の方は電話又は端書御一報參上 京城鐘路パゴダ公園近 電三三八 楠商店 463
乳母入用 南米倉町一ノ六四番地 山菱屋質店 470
●はねつき(うちみ くじき) 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 311
恩給年金長期低利即金立替 公債債券現物質買 ▲擔保貸附 京城若草町百六 電話三〇〇番 西村商會
移轉 今般擴張する爲め左記に移轉し從前日割の通り水土兩日研究し日鮮男女會員を大募集す 京城南大門通一 京城基督青年會內 齒科研究會 電一五八九

京城本町二丁目 川合時計店 電話二九一八 振替京城二二一九

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（五日）

▲本會議　＝質議延長＝夕刊より續く＝

軍事工業動員法案

▼大島陸相　登壇　本案は戰時非常の場合に備ふる爲め制定せんとするものにて本案の必要なるは諸君の知悉せらるゝ處なり本案は歐洲諸國にて發布されたる如く戰時非常の場合にのみ處せんとする一時的の案に非ず平時よりこれを制定し戰時非常の場合に際して遺漏なからしめんが爲めに外ならずと提案理由を說明するや

▼高木益太郎氏（國民）より詳細に亙る質問を爲し之に對し

▼大島陸相　本案は永久的法律として戰時に備へんとするものなり戰時之等の統一機關として或は軍需者を置く必要あるやも知れず營業の自由妨害等は出來得る丈避くる積りなり徵發に關しては民間有力者の助力に俟つ事と爲る可しと述べ更に小山松壽氏（憲政）の質問に對し政府は兵器製造能力不足なりとの理由を以て俄に是れを提出したるものと解するは誤解なりと述べ臥次の質問應答を重ねたる岩崎勳氏（政友）の動議に依り他の日程と共に延會の緊急動議提出あり成立し散會せり

獨逸東漸と極東

▲斯くの如き場合に日本と交戰せん

獨逸政界の亢奮＝新聞紙の論評

獨逸政界は日本の西伯利亞出兵に關する報道に接して大に亢奮し居れり其筋の意を受けたる某新聞紙の論評に曰く『獨逸は西伯利亞に於て戰はざる可し然れども若し日本にして獨逸が露國との講和に依りて得たる利益を奪はんとする場合には獨逸は直に應戰す可し獨逸は露國が獨逸に對し其援助を乞ふ場合にのみ日本に對抗し露國を援く可し此場合には獨逸は自國の條件に依りて是を行ふ可し』と（ヘーグ電報）

▲莫市邦人愈々引揚

內田大使ボロクタ出發

內田大使は三日夜大使館員其他十一名の同行者及び支那公使一行と共にボロクタを出發せり尙ほ莫斯科在留日本人は二日豫定通り萬國寢臺會社特別仕立の貨車二輛に男十五名女五名小兒四名乘込み熊崎莫斯科領事の請求に依り莫斯科軍管區司令部特派の護衛兵二名隨行サマラ經由極東に向け發程せり隨つて其後莫斯科に在留する邦人は領事館員外四名に過ぎず（ボロクタ電報）

▲露都行急行廢止

西伯利鐵道は途中各地方に於ける秩序紊亂の結果浦鹽發露都行急行車を廢止せり（倫敦電報）

▲西伯利獨立否定

ホルワット將軍は六日午前七時卅八分來長し直に同八時三十分の特別列車にて哈爾賓に向へり將軍と共に北京に赴き過般哈爾賓に還りし西伯利亞選出憲法會議員ストンリコフは西伯利獨立問題を否定し居れり（長春特電）

▲極東臨時政府顏觸

北京滯在中なりし東淸鐵道長官ホルワット將軍は五日夜奉天通過哈爾賓に向ひたるが將軍が北京土產として傳へらるゝ處に依れば近く哈爾賓に於ては西伯利及び極東露領の臨時政府を組織さる可く其閣員の顏觸れは首相リウオフ公爵、陸相ベルシーロフ將軍、次官ミヨーノフ騎兵大尉、交通相ホルワット將軍、藏相ウストルゴフ前交通大臣、文相ウストリゴフ、外相クダーシエフ氏なりと因に右は日本及び支那駐在の露國公使並に滿洲、沿黑龍州選出立法會議委員の選出に由るものなりと謂ふ、尙ほ右の內首相及び陸相同次官を除くの外は總て目下哈爾賓に在り（奉天特電）

◎大連大豆事件解決

[illegible]が關東都督府法院にては後來の取引上に及ぼす影響に鑑み該係爭を[illegible]西[illegible]訴人文藏同臼井洋行代理人臼井熊吉同齋藤油房代理人齋藤久太郎及[illegible]の通り宣告あり茲に全く該事件の落着を告ぐるに至れり

△仲裁判斷書

△主文　大連取引所信託株式會社は買方に對し金四十六萬五千六百九十二圓六十四錢を賣方に對し銀十[illegible]これを保障すべし

係爭八月限大豆五百十六車は買方よりこれを賣方に返還すべし

係爭九月限大豆三百二十七車及[illegible]袋損料は大正七年三月四日より買方に於て負擔すべし

係爭八月限九月限及び十月限大豆の袋損料中賣方に於て大正[illegible]て無條件にてこれを承認すべし

關東都督府地方法院大正六年民第六二號訴訟事件の訴訟費用はこれを二分し買方賣方及び大連[illegible]託會社が損害賠償の意味にて買方に對して支拂ひたる金四十六萬五千[illegible]百九十二圓六十四錢及び賣方に[illegible]擔を爲さしむるは[illegible]危くするものなりとして金三十五[illegible]

▲割讓條約に調印

獨逸の露國に要求せる講和新條約中最も重要なる點はアルタハン、カールス、バツームを露國より割讓せしめんとするにあるが過激派委員は右割讓條約に調印せり（哥本哈根電報）

◎張督軍應答激烈

奉天督軍張作霖氏は馮總統の詰問に對し憤然激語を以て答へて曰く『深州に兵を發せるは中央政府の意見を侵犯するものに非ず予は政府の態度如何に依りて將來の行動を決せんとす予は暫時政府の行動を監視す可し』と尙目下張氏の軍隊七百は深州にて汽車を抑留せり（北京特電）

◎張氏南征軍派遣

曩に軍器受取の爲め秦皇島に兵を派遣せし張督軍は五日夜及び六日夜の兩回南征軍の一部を京奉線にて出動せしめたり目的地は不明なるも多分段派の兵力復興の爲め馮總統威嚇の一手段なるべしと噂されつゝあり（奉天特電）

◎參戰費借款計畫

支那政府は四國銀行團に參戰費一千萬元の借款を申込むべしと（北京電報）

◎西伯利問題協力

政府は西伯利亞の問題に關しては努めて日本と協力し且つ幇助することに決したり（北京特電）

◎三將軍一行

川村元帥大迫大谷各大將の一行は六日午前小倉より門司着直ちに渡鮮九時五十分下の關發廣島へ向へり（門司特電）

◎釜山水上署獨立

四月一日より釜山水上警察署獨立し同署長は草梁に本署を置き釜山署長橋本寧親兼任すべしと（釜山特電）

◎秋山長官通過

秋山長官、內田秘書を伴ひ六日午後八時半安東縣を通過せり八日正午大連發歸任の豫定なりと（安東縣特電）

◎赤塚總領事東上

赤塚奉天總領事は令息病氣危篤の爲五日夜朝鮮通過東上せり（奉天特電）

◎松永長官晉州著

松永長官六日晉州（著望月）へ投宿八日出發の豫定なり（晉州電報）

◎確定せし韓貨案

韓國貨幣の處分に關する法律案は曩に貴族院を通過し衆議院委員會に於て審査中なりしが去る二日の本會議に附議

▲原案通過　可決確定せり本法案の內容は曾て既報せしが更に詳細を聞くに市場に發行せられ居る貨幣は既に韓國貨幣條令によりて大正九年十二月三十一日迄通用を延期する事並に其の期限後廢貨になりたる際交換期間を五箇年に定める事及び葉錢は當分の內從前通り通用せしむと云ふにあり目下

▲百八十九萬　朝鮮にある舊韓國貨幣は餘圓にして其內金貨に屬するものは既に銀の正貨準備として蓄積され全く市場の通用なし又他の貨幣も今日の場合之れを引換ふる必要なく補助貨不足の際從前通り通用せしむる事は大に便法たるべし唯其廢貨後の引換期を五年とせしは幾分長きに過ぎずやとの議論議會に於ても出でし模樣なるが之れ引換の便法を圖り租稅の代用等によつて引換ふべき方針なると且つ僻遠の地多き等の關係上五年の期限を置きしものゝ由又葉錢は今日に於て

▲全鮮を通じ　僅々十一萬圓內外の流通に過ぎず朝鮮目下の狀態より見て之れを直ちに廢貨とせず當分通用を許す事は必要なりと云ふにありと

◎本年東拓移民

東拓京城支店に於て本年募集すべき第九回移民は豫て朝鮮各出張所に於て收容土地調査中の所最近全部の終了を告げたるに付總督府に認可の申請をなすべきが其の戶數は多分前年同樣第一種第二種自作移民一千戶第二種地主移民五十戶內外なるべく發表は或は四月に入るべしと

◎芝罘寄港中止

朝鮮郵船會社の自營航路たる北支航路は仁川より芝罘經由靑島に向ひ大連に轉じ仁川歸航の順なるも最近山東省に於けるペスト流行の兆あるを以て其の芝罘寄港を當分の間廢止したり但し目下の所乘客貨物多からざるを以て其の影響は僅かなるべし

◎日滿露聯絡券發賣中止

滿鐵京城管理局に於ては西比利亞線破壞の爲之が復舊迄日滿露聯絡乘車券の發賣を中止せり

◎電氣博と支那觀覽團

來る二十日より東京に於て開催せらるべき電氣博覽會にては支那各方面の有力なる關係者を招待し日本に於ける電氣工業を視察せしむるの計畫あり之に關し北京方面よりも約四五十名、上海方面よりも亦同數の觀覽團組織さるべしと

◎朝鮮輕鐵工事經過

朝鮮輕便鐵道會社大邱浦項間第二期工事たる河陽浦項間全延長四十九哩の工事は着々進捗しつゝあるが右の內河陽慶州間十九哩に對する二十磅の軌道は既に內地製鐵所に註文濟となり尙車輛も準備成りたるを以て來る六月頃迄には開通を見るべく殘餘の慶州浦項間延長三十哩の工事も著しく進捗し居るも唯之に要する二十磅の軌道は目下既製品なき爲めに先般內地製鐵所より十八磅軌道を以て代用方の交涉に接したるも之を使用するとせば第一鐵道局の認可を要するを以て設計上多少の變更を要するを以て目下之が調査中に屬するも鐵側は勿論請負人側に於ても是非共雨期に入る以前に於て工事を完成せしむべく極力工事の進捗を急ぎ居れるを以て遲くも八月末迄には全線開通を見るに至るべしと（大邱）

◎鮮鐵營業收入

滿鐵京城管理局に就き大正七年二月中の同局線營業收入を聞くに運輸收入百二萬七千四百十九圓附帶營業たる旅館、食堂車、喫茶店倉庫收入一萬六千四百八十四圓合計百四萬三千九百三圓にして前年同期に比し三十萬五千十五圓の增收なり其の內譯左の如し

▲運輸　乘車人員五十九萬六千八十八人小手荷物百五十八噸にして之に對する客車收入四十八萬七千二百九十三圓貨車收入五十三萬四百二十六圓合計百二萬七千四百十九圓なり之を前年同期に比すれば貨物に二十九萬八千二百八十一圓の增收にして更に之を一日一哩平均收入に就て見るに前年同期の二十四圓四十三錢に比し九圓十七錢の增とす

▲旅館　宿泊人員六百九十四人此の收入九千十四圓にして前年同期に比し三千三百十六圓の增收也

▲食堂車及喫茶店　人員三千四百二十五人此の收入四千六百五十一圓にして前年に比し一千九百四十圓の增加を示せり

▲倉庫　入庫一萬二千六百七十五噸出庫一萬一千九百八十二噸此の倉敷料及び雜收計二千八百十八圓にして前年同期より一千五百九圓を增せり

◎移民來著數

二月初めより渡來する事となり居れる東拓第八回移民は最近までの來著數約四十五六戶にして未だ承認戶數の一割にも達し居らず

◎組合豫算編成終了

京城學校組合大正七年度豫算案は木編成中の處此の程全部の完成を告げたるを以て直ちに道長官の手許に送附し認可申請中也と

◎支那教育視察團

支那浙江省學務課員三十二名は支那領事館通譯の案內にて六日午前中男女高等普通學校並に附屬普通學校を二組に別れて參觀午後は中央試驗所を視察せるが七日朝退京歸國すべしと

◎全北稚蠶共同飼育

稚蠶共同飼育に關し全北道にては大に之れを指導獎勵しつゝあるが漸次進展發達し今や飼育所は道內に於て春秋蠶を合して二百九十五箇所を設置せられたり尙ほ本年中に二百四十四箇所を增設するの計畫を樹て目下著しく進展を見つゝありとの事なれば蠶業の將來は大に見るべきものあるに至るならむ（全州）

◎大連海港檢疫實施

山東省一圓ペスト流行指定地

關東都督府は山東省一圓をペスト流行指定地と決し五日より海港檢疫を實施せり靑島、芝罘、龍口方面より來航の旅客は寺兒溝隔離所に收容七日間停留後異狀なきものに限り上陸を許可す前記航路に當る阿波共同、大連汽船、盛記公司等は若力の乘船を拒絕すべく靑島航路は大打擊を受くべし山東歸客の談に依ればペストは目下濟南城內に限り附近に無しと（大連特電）

◎獨逸瑞典を威嚇

アーランド諸島占領

獨逸は無政府主義鎭壓の口實の下に瑞典に對し軍隊を芬蘭に上陸せしむる事を通告しアーランド諸島を占領せしが之れが爲め瑞典にては大恐慌を惹起しつゝあり（ストックホルム電報）

◎木浦米穀檢查成績

二月中の木浦米穀檢查所の檢查成績は受檢總數一萬五千七百七十二叺內特等九十五叺、一等八千四百五十七叺、二等五千零九十九叺、三等一千七十六叺不合格三百六十一叺にして內三百十一叺は高知行他は大阪仕向なり（木浦）

◎和田總務課長出張

土地調査局和田總務課長は西鮮方面に於ける業務視察のため六日午前九時五十分發列車にて南市に向ひたるが十日頃歸京すべしと

◎靑木副官入京

陸軍省副官砲兵大尉靑木政喜氏は五日夜平壤より龍山軍事務打合の爲軍司令部に出頭せるが尙七日師團司令部を訪問の上八日大邱に向け出發の筈

人事

▲佐藤榮藏氏（慶尙南道第二部長）　六日夜入京南山町へ

▲永井松太郎氏（仁川土木出張所長）　同上

白頭西疆

最近露國擾亂の巷を分けて歸朝した參謀本部充木中佐の土產話を一寸失敬する▲木中佐は革命前から行つて居たので舊政府時代の將校や中產階級の者に知己が可成あつた所が今度戰線から歸つて見ると▲曾て飛島を落す勢ひであつた彼れ等も今は見る影もなく身を落して居るので挨拶にも困る位▲永い間別懇にして居た或る聯隊長などはもうどうにか少將になつて居るだらうと思ふと豈圖らんや停車場で赤帽をして居る▲そして『此なら命も大丈夫だし他人に頭を下げなくつてもよいから樂だ』と云つて居る▲それで將卒の服を著たり勞働者の群に入つたりして居るが▲是等は比較的氣骨のある方で意氣地のない連中は大抵米國あたりへ出稼に行く▲其中流以上は殊に氣の毒に堪へない▲其代り兵隊は無暗矢鱈に威張つて『新取强盜は吾等の權利だ』ナゾと言つて居るから尙更憎らしい▲芳賀博士の眼病は近來益昂じて物が著しく讀みにくゝなつたとしたが頗る經過がいゝので末松子も同じく眼病で此程手術をした▲夫人は此間から『芳賀さんあなたも一刻も早く手術をなすつたら如何です』と熱心に薦めて居るが▲然し博士は二三週間も眞暗な部屋に入つて默つて居なければならぬのが大苦痛なので未だに決心がつき兼ねて相變らず眞赤な眼玉をクルクルさして讀書に耽て居る由

最新刊

日本國體と日蓮主義　佐藤鐵太郎　一、二〇
翁處世百話　福澤諭吉選訓　九五
敎へ草　輪田眞佐子　一、二〇
公民敎育資料　東京出版社發行　一、二〇
物價經濟講話　福田德三　一、八〇
亞米利加合衆國　坂本健一　四五
最新製圖法　自在湯川　殿　六五
哲學より政治へ　北吟吉　一、三〇
英語の學び方　神田乃武外十五大家述　九五
平物語　大町桂月　九〇
珍らし自然界の現象　横山又次郎　一、〇〇
小說の作り方　[illegible]　五五
初等作詩法律詩　森川竹磎　一、一〇
最新和漢詩歌集　馬場直編　一、五〇
二叉文鈔　竹越與三郎　一、五〇
熊さ諸の講話　天沼[illegible]　一、二〇
婦人の爲に　高島平三郎　一、三〇
國民道德と日蓮主義　本多日生　九五

大阪屋號　京城本町電六八四・二〇八六・振京城二五七三

文化の出來る靴

ボックス皮製編上
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢

ボックス皮製總型
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢

ボックス皮製深ゴム
一號金五圓五十錢
二號金六圓五十錢
三號金七圓五十錢
四號金八圓五十錢

右は精撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の節は靴の種類代金及足袋文數等詳細御通知被下度候御注文次第送料實費を御送付申上候皮付見本型錄進呈

東京新橋　御用商　東京京橋　日野製靴店　（電話京橋三六三九番　振替東京九五一番）

香の素　金鈴香水　一滴千金　新らしき香

軍隊拂下品　專門
紺絨外套（壹圓六拾錢）鐵道局拂下外套各種其他防寒襦袢、手袋、毛脚袢、茶褐改造足袋、作業用品一切毛布貸しも可仕候
雜貨商　京城北米倉町　村上治平商店
メリヤス、洋服職工入用　電話千百十二番

強胃消化錠　マーゲン
本舖大阪市本町　田畑保藥房
特約店　京城南大門通二　新井藥房

朝鮮諸官廳受驗叢書　全部完成

京城專修學校敎官　安達大壽計著
朝鮮諸官廳受驗必携　▲受驗提要　全一册
必携　▲受驗文解釋　全一册
必携　▲朝鮮公論　全一册
受驗必携　▲朝鮮六法要論　全一册
必携　▲朝鮮行政法規大意　正續全二册
朝鮮諸官廳受驗者必携　▲會話譯文速成　全一册
朝鮮諸官廳受驗者必携　▲作文軌範　全一册

前高等普通學校敎官　阪上綱吉著
朝鮮諸官廳受驗者必携　▲法律問答　全一册
朝鮮諸官廳受驗者必携　▲法律講義（大倍）全一册（特價七十五錢）

以上定價各四拾錢　送料各一册金四錢（法律講義は定價送二倍）

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題をして適切なる事項全部之を網羅し、而も當局の者の方針に則り極めて懇切明確なる模範的の解答を施したるものなれば、受驗準備書として最も適合せること到底他に其類を求むべからず、以て何れも發行以來嘖々たる好評を博し、凡そ受驗者として此等の書を手にせざるものは無きの狀況を呈せり、受驗に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官見習、雇員、警部、巡查、看守、江湖の諸士は、其の他各種の資格並に試驗と應せんとする各受驗科目學修上の迅速と正確とを期し座右に備へ採用試驗に資格を一日も早く有し給はんことを祈る。

賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

弊商會今般開城高麗參業社製品の一手販賣特約を締結致し人參の製品は卸小賣共精々廉價を以て販賣可仕候間多少に不拘御用命の程奉希願候

開城高麗參業社一手販賣元
京城府南大門通一丁目卅一番地
貿易商　三山商會

◎當籤受領廣告

月賦債券割增金

一金貳千圓也

當籤者　忠北陰城郡金旺面無極里　米山彌五七

自分は貯金を勵行せんとするには一寸引出すことの出來ぬものでなければならぬと考へて居つた處が幸ひにも報國公債株式會社朝鮮支部の代理店が鎭川邑內にありて佐藤氏が主管となつて居り同氏の勸誘に依り三年百圓契約に加入して去る二月で第七回目の拂込みをなし三月一日抽籤の勸業債券第五十八回二組四貳七九十七號の權利を收得した處が天佑に依り割增金貳千圓に當籤の幸福を得たのでありますゝ茲に債券月賦販賣會社中の白眉と稱せらるゝ報國公債株式會社の强固なる基礎の上に其の確實なる營業振りと親切なる取扱をせらるゝ事は多數の加入者の等しく同感とする處であると考へまして同會社の迅速なる取扱を感謝すると共に貯金は是非債券月賦購買の趣味深きものに限る事と幸ち多き同胞に加入せられん事を同好諸彥に謹告候也追て加入御希望の方は左記の支部又は代理店へ御申込になれば營業案內等進呈せらるゝ由に候

營業科目　勸業債券　月賦販賣　公債々券　現物賣買　擔保貸附

本社神戶　大正二年創立　報國公債株式會社

京城府若草町百六番地　報國公債株式會社朝鮮支部　電話三〇一番　振替口座京城六五九番

代理店忠北鎭川　報國公債株式會社鎭川代理店

朝鮮各地至る處に代理店あり

…は昨年冬以來…遂に訴訟問題となり我…係當事者及び米岡、水野、齋藤各…被告小寺准行代表者小寺壯吉同平…判證士出席仲裁人平右商店、岡商店、丹羽幸三郎外…國に於ける稀有の大裁判として其の成行は一般の注目する處なりしより買方たる原告鈴木商店代理人米國人一名の買方に對し左記の主文…

…記載の請求を爲すの外…求を爲さざる事を合意したり…裁人は右合意を妥當と認むるにより左の如く判斷するものなり

…べし 千…圓二十三錢…四十錢を支拂ふ… 前項買方の支拂義務に就きては大連取引所信託株式會社に於て…

…東水茂に於て…四十二錢の割合を以て買方白井熊吉と解合ひを爲すべし…保爭九月限及び十月限大豆の賣…

…大連民政署…六年假第二四九號假處分事件に就き買方の供託したる保證金十七萬圓取下に就て大連取引所信託株式會社に於て…

…を却下す
大正七年三月三日
關東都督府地方法院長 土屋 信民

…備主文に記載せる通り大連取引信…大部分は都督府及び滿鐵會社より補給せられたるものにして都督府にては信託會社に前記の如き大負…して圓滿なる解決を爲さしめたり

家路 —龍山にて—

屈服さして獨逸は 露國を君主制に
◇戰線からの歸還兵が掠奪◇
—歸還露國軍醫 閔泓根氏談—

六日本社門司電報にて報道した露國歸還の朝鮮人軍醫閔泓根氏は六日朝南大門驛着列車にて釜山より入京したるがカーキ色の上衣に黑ズボンの露國大尉相當官の服裝を纏ひたる氏は黄金町の旅館にて語りて曰く

私は昨年五月京城を出發して露國に直行して軍醫に任命されて獨逸方面のピチヨブスク陸軍豫備病院に勤務して居りましたがケレンスキー政府の時代に於ては名ばかりでも

▽戰爭が繼續 して可なりの負傷者が有りましたけれども其後リガは陷落し露軍は退却又退却で今日まで休戰狀態であります。糧食はそれでも私等軍人には不足ながら給與されるので幸に饑餓は免れたですけれども實際食糧の缺乏と其の騰貴さは大變なもので パンは幾何錢を出しても容易に買へませんし露都では芋汁一腕に肉一片の蜜食にも十三留を拂ふと云ふ狀況です軍隊の殆ど全部は戰線から皆

▽歸還して 今は若干の騎兵と砲兵が殘つて居る位のものです其歸還の狀況がまた悲慘なもので歸還費を呉れないから兵卒達は半ば掠奪をしながら歸る將校達は流石掠奪し仕兼ると見えて道々勞働をして旅費を稼ぎながら故郷を指して歸ると云ふ有樣です

▽革命思想 は隊中に實に大變なもので將校も兵卒も皆同じ軍人であるのに服裝とか給與とかに差等を付けるのは怪しからんと云つた有樣で將校は肩章を付ける事を禁止され其他兵卒と目立て異ふ樣な服裝を著る事が出來ないばかりでなく食糧とか住居とかは却つて兵士より劣る位なものです

◇露國軍醫閔泓根氏

▽戰線の近い處では墺國の俘虜兵は後方勤務の雜役に就くのを澤山見受けましたが獨兵の俘虜には巧妙に逃走するのが多いと云ふので僻遠の地に收容してあると聞きましたが今度は歸り道に露都に寄りましたら獨逸の將校達が獨逸の軍服姿で大通りを濶歩して居るのには一驚を喫しました

▽トボルスク に幽閉されて居る廢帝と廢后も露都に移送して公判に附して帝政思想を根絶して仕舞ふとか云ふ噂は非常に高い樣ですけれども獨逸は今でも露國の社會主義思想が獨逸國內に侵入する事を恐れて露國を屈服さした後には露國を更に君主國にして社會主義の思想を抑壓しようと云ふ下心があるのに若し露都に移送中とか或は露都にて獨軍に奪はれた日には大變だと云つて過激派の一部にも反對があるさうです

▽露國へ歸化 した朝鮮人で兵卒に召集された人は數千人に達する樣ですが皆南方戰場に從軍して居るので逢ふことが出來なかつたですが其內には死傷者も澤山出來捕虜になつた人も尠くないさうです歸路浦鹽では三日も泊りましたけれども表面は割合に靜穩な樣でありました、尤も強盜などの騷ぎは澤山有るやうで夜中には通行人も滅多に有りませんが港內に日本軍艦が碇泊して居るので中產階級の人達は其れに信賴して居る模樣でした

エンケ彗星
今夜出現する
—天文學者の期待—

七日の夜はエンケ彗星が出現する筈である、一體今年は彗星が却々多く二月二日にはブルックス彗星が出現する筈であつたが遂に望遠鏡に映らずにしまつたので天文學者は何れも今宵出現すべきエンケ彗星に對して深い期待を持つて居ると云ふ事である

▼尾を曳かぬ星 楕圓形で光が薄い

之に就いて某專門家は語つて曰くエンケ彗星の週期は三年三箇月で非常に短く、出現の度每に週期が二時間宛

◆短縮 する、楕圓形の薄い星で普通の彗星のやうに尾を長く曳いて居るのではない、一體彗星は春よりも秋が見易く大正三年の秋のエンケ彗星は

◆肉眼 でさへ見られたが明治四十一年の春に出現した時は世界の天文學者が皆見逃がした程である、で今度も亦春であるからヒヨツとしたら

◆見逃 がして了うかも知れない、尙今年中に出現する彗星は未だファイヤ、ウルフと二つばかりある

禍ひする汝海津の岩石
—獨力でも除去したい—
悲慘なりし遭難の回想
◇岡本遞信局技師談◇

過日北鮮南大川の水路調査に赴く汝海津附近に於て上陸しやうとした所本遞信局海事課長が

◆艀船顛覆 のため危ふく溺死せんとせし事は當時詳報した、此頃課長が先づ無事で歸つたので改めて遭難談を聞くと談話上手の課長は時々諧謔なかいたりして當時の模狀を詳らかに語る

「何でも大變な風波だつたから普通なら艀船を本船から出さぬのだが課長が上陸すると云ふので

◆屈强の水夫が七人 も乘り組み本船から漕ぎ出したのださうだ、然かも針路を誤まつて陸地近くの岩に艀船の一端を乘り揚ぐるや、船中の二十人ばかりは浪で船が甚だしく飜弄されるため全然帶で掃き出されるやうに海中に落された、乃で課長は顛倒し乍ら船に獅嚙みついたり、海中に漂うて溺れつゝある朝鮮人の

◆女に捉へ られたり、零下何度の冷い海水をしたゝかのんだり、更に課長の出迎へに來て一しよに遭難した工夫の足につかまつたり殆んど夢中になつて藻掻いて居る內小さい板切れと自分のわきに浮んで居る郵便行囊を見出したので大丈夫とそれを

◆兩手に押へて波に飜弄されたが、結局船ののし上げた以外の岩に同氏は萬難を經て上る事が出來た、其の岩には外に四名程の先著のヅブ濡れがありそれが岡本氏を交へて結局五名其の五名は互ひに手をとつて風波のために吹き飛ばされる事を防いだ若し一人でその岩上に辿りついたら忽ち午前七時半の

◆北鮮の朔風 に吹き拂はれたらうと云ふ事である、其の岩に辿りついてから非常に寒氣を著痛を覺へたと氏は繰返す、そこで助け舟を待つた譯だが、防寒用意を十二分にしてゐた氏、乃ちズボン下の厚いのを二枚も穿き、其の二枚の間には眞綿をまいてゐた、又シャツも三枚を重ね眞綿のチヨツキを著て氏の肥つた身體より

◆濡れた著物の方が重かつたらうと思はれるのにそれが沈みもせず泳ぎも知らぬのに助かつたのは氏の幸運と云はねばならぬ上陸後オンドロに永い間ねて漸く吾に返ると十分間も武者振ひを續けたさうである、課長は語る『實に汝海津の船著はわるい、港とは云へない

◆從前にも 遭難はあつたさうだ、而して其の遭難は陸岸近く散在せる岩石である、予は其の禍ひする岩石の除去を當局に申請しやうと思つてゐるが若しそれが假かに國費が取り除きが出來ないならば予は自費でも遭難記念として取除きたい考へである費用は爆藥でぶちこわすのだから一二千圓もあれば安全を期せられるやうにならうと思ふ』と

新義州の火事
燐寸軸木工場

六日午後三時五十分新義州朝鮮燐寸軸木工場より出火し一棟全燒一棟半燒せるが兩棟共軸木塡充しありたるを以て損害額少からざる由(本社特電)

八年後に露顯
強盜仲間を殺害

京畿道金浦郡陽東面木洞里李仁汝(五九)同人倅李德良(三五)同亡李士汝(三一)及び同里李冠汝(三七)同李漢汝(二五)の六名は始興郡三嘉里河蓮先(四〇)と共謀し今より八年前各所を荒して強盜を働きしが同じ仲間なりし本里の亡李允京とて其の當時三十七八歲なるが兎もすればお互の犯罪事實を官憲に密告せんとする樣あるを探知したる前記六名は或る夜窃かに允京を誘致して袋叩きにし慘殺したる上屍體は山深く葬り隱し犯人等は其の後互に口を緘し今日迄打過ぎたること此の程に至り永登浦署の川崎刑事が探知し犯人等を引致取調べしに何れも前記の次第を自白するに至り身柄は京城地方法院檢事局へ送られたり

檢擧續々
九鐵疑獄事件の火の手 關係者夥し

既報の如く北九州方面の大檢擧に關し百十七名(內縊死其他に依る死亡者五名)收監され大阪にては既報の田中省三の外大阪製鐵所古鋼片拂下に關し賄賂したるもの某大阪久保田鐵工所柴田新三及び最近大阪鐵工所專務山口力同取締役兼因島工場長木村鐐之助の兩名も福岡に護送さる八幡製鐵所(大阪特電)

強盜殺人犯人捕はる

大阪市內にては一月中旬より數個所に強盜殺人あり其筋にて嚴探中六日犯人なる石川縣石川郡米丸生北野秀一(二〇)を逮捕せり(大阪特電)

京城中學校
入學試驗問題

(寄書)

[illegible]

國語科 讀方

國語科 書取 (常體の口語文)(文語文)

[illegible]

國語科 書方

[illegible]

理科

[illegible]

◎書籍研究會 [illegible]

◎國柱會仔東講師 [illegible]

大正の孝女へ

目下讀金…誌に映寫中なる大正の孝女と題する寫眞の主人公松木文子に對して同情を寄せらるゝ向き非常に多く左の如く寄附申込みありたれば夫々順よりこれを同一家に送附せり

[illegible]

累計 六十八圓六十三錢也

◆京山國玉俳演 [illegible]

七日より鶯稽座に開演する筈なるが右俳名はいづれも長期二回の稽を節むる由

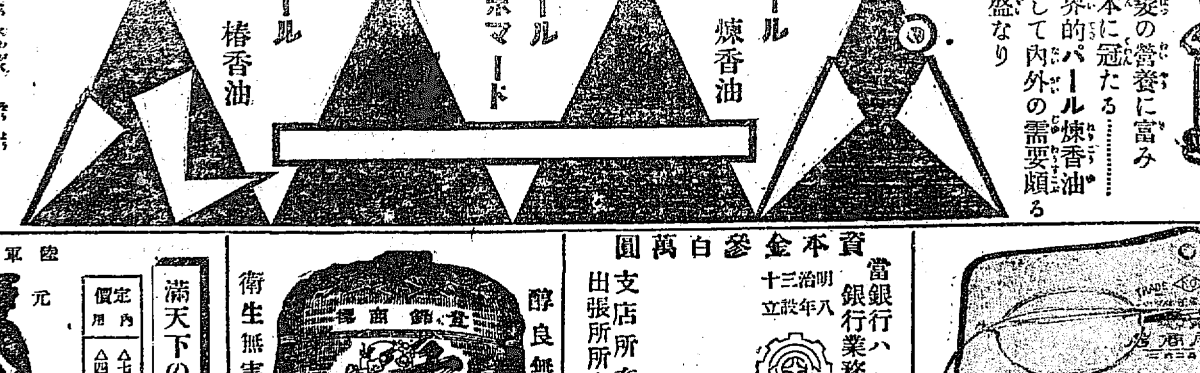
▲浪花節 [illegible]

▲大正館 [illegible]

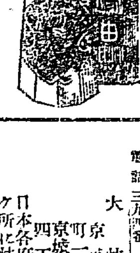
▲黄金館 [illegible]

寄宿舍問題
—日本橋區本町…學校主 本宿家全氏談—

[illegible]



毛髪の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり


化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺感なき……現代理想の—椿香油なり
關西代理店 大阪 平尾レート
本舖 東京 平尾パール

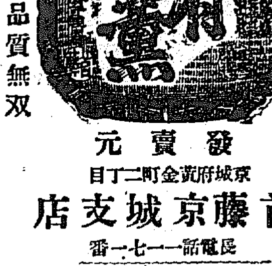
陸軍御用
元祖

朝鮮高麗人蔘直取引貿易商
ツ 人蔘エキス本舖 津村兄弟商會 本店 京城本町一丁目
電話一四八〇番・振替京城三五一番・取引百三十銀行
津村兄弟商會支店 京城本町一丁目 電話一八七〇番
津村兄弟商會大邱支店 朝鮮釜山大倉町 電話三九〇番

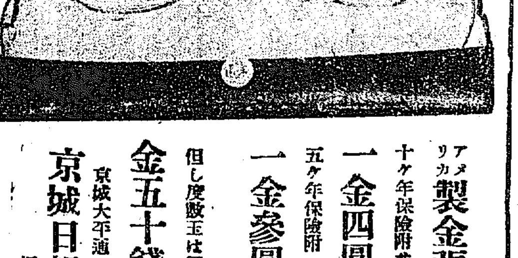
大特約店
京城本町二丁目 山岸天佑堂
京城本町四丁目 木村藥舖
其他朝鮮全道四百十ケ所日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候

品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス

滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス
定價 內用
△七日分、金五十錢 △十四日分、金壹圓 △三十日分、金貳圓
△四十七日分、金參圓 △八十五日分、金五圓 △百八十五日分、金拾圓


醇良無双清酒
衛生無害品質無双
發賣元
京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 電話長三四三番

資本金參百萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
明治三十八年設立
株式會社 漢城銀行
京城府南大門通四丁目五番地
頭取 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 張弘植
電話 六四六番・三三九番 振替京城二〇五番・一八六三番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鍾路、東幕


アメリカ製金張眼鏡
十ケ年保險附サック入玉付
一金四圓 送料十二錢
五ケ年保險附 同上
一金參圓五十錢 送料十二錢
但し度數玉は何れも別に
金五十錢 申受候
京城大平通
京城日報代理部
振替京城三〇〇番

古い小布帛類の利用法

◇ワイ襯衣の古物 ワイシャツは袖口と襟の周りが一番損じ易く外の部分はまだ完全して居るのに多くはお捨てになる樣ですが胸板とカウスとの厚い所は種々に利用されます胴の部分からは子供の西洋前掛が二ツ兩腕の部分から同じく一ツ都合三ツの前掛が取れます胸やカウスの厚い所は先づ周圍の縫目を切り離し温湯に數時間浸けて洗ひますと糊を除くことが出來ますから之れを剝しますと表は金巾で中の心には極めて丈夫な天竺木綿が二枚あります、金巾の方は金巾の足袋に心は木綿足袋の補綴用として至極適當であります、カラーカウスの古いのもまたワイシャツの胸板と同樣に利用することが出來ます。

◇古ネクタイ 古ネクタイでも下の部分は蝶形のネクタイに作り變へるのは容易いことです更にゴム草履の表として妙でありますゴム草履は兎角ゴムの傷まぬ内に表が傷んで見苦しくなるものですが結びネクタイ一つあれば一足の表替をして更に友布の緒が取れ而も全然新しい草履の樣にすることが出來ます其方法は草履をよく洗ひましてゴムと表との縫目を切離し表は其儘ネクタイ布で包むか若しくは厚紙の型を切り少し綿を入れて新しく表を作ります左右の樣に注意して緒を取ります緒は幅が六分長さが四寸位あれば足ります心の麻絲も細で包みますと穿き心地もよろしい一足の臺ゴムは少くとも三代位保ちますから三遍表替をすると三足買ふ所を一足で足りる事になります

◇毛糸の靴下 は足首の邊から上は殆ど破れませんで底許り破れます二三度補綴の後は足首の邊から切つて上部二足分あれば一足の靴下が編めます底の部分にしましても足の甲の部分は稍完全してゐますから此處はよく洗つて解き一度湯氣に當てますと縮れたのが伸びますから子供の羽織紐などを編みます

◇メリヤス類 メリヤスのシャツ、ヅボン下の古いのは一二遍補綴して後は子供のシャツ、ヅボン下、寢冷知らずなどに縫直します子供のシャツ類には兎角地の良いのが寒いから大人の古いので作り替へますと普通店にあるのよりは遙か上品で暖かいものが出來ます(〇〇女史)

櫻御殿休載

作者病氣に付休載

春向きの帽子と履物

紳士の頭と足を飾る春向の帽子は地質の輕くて色の淡いものが歡迎せられます

【中折帽】は銀茶、薄茶、薄鼠と云つたやうなサッパリした色の裏なし切鍔が喜ばれます鍔は幾分廣目になつて二吋四分の一乃至八分の一リボンも亦廣目になつて一吋半位が新しい所です山は心持高くなり先づ五吋位でせうか

【地質】はソフアーの五圓前後の物が一番喜ばれウールの三圓前後も却々出ます少し高等な所では縁付折返しの五六圓と云ふ所も歡迎せられます縁付折返しはリボンも縁付も黒が引立ちます

【若向き】の僅にヤンダスタイルと云ふ廿六七歲迄の人に近頃喜ばれるのは縞〓のスコッチ又はホームスパンで二圓前後の直なものがありますがリボンが黒いから却々意氣に見ねます

【草履】は最近のフイルト底が陳列棚を占領してゐます何うも護謨裏は足の返しが惡いので全然フイルトになつたやうです表は藤は全く廢れて了ひ南部が全盛です四五圓と云ふ所が手頃でせう

【鼻緒】は男子向はゑんでんが婦人向は表と同質の紫、青、赤又は黒の切地ですが此の切地の鼻緒の派手な物になると棒縞に金絲銀絲を入れた物でなくてはいけませんフイルトの外にスポンジと稱する垢擦りに用ひる護謨を底にしたものも流行し出したやうですこれは二圓前後致しますコルクは全く廢れて參りました

【日和下駄】南部表の意氣な爪掛をかけた物が流行します爪掛は縞お召紋羽二重古代更紗等の裏へセルロイドを引いたものですが卅錢四十錢と云ふ所で足駄共一圓二三十錢から二圓前後迄のものが大層出ます

日報俳壇

冬雜錄

枯芦に絡む藻草や冬隣　楚川
夜神樂の薪メラ〱と燃ゆる哉　同
夕陽射す明るき土間や寒雀　同
干菜吊して軒歪みけり薮の家　同
荷揚場の朝長閑さよ寒雀　同
干し物の影動く畑の根深哉　柿腎
蕪を焙らす渡船むり枯柳　同
火を埋めし灰の凹の火鉢哉　同
枯し標に猶ある菊や庭の雪　同
棒杭の流氷閉く月夜かな　要村
氷上の捨船に鳴く鵆かな　同

寒月に山社灯ともす物日哉　同
水仙に眼鏡光らす醫師哉　同
井戸を埋む落葉と蔽ふ板戸哉　馬丘

□摘草 …五の日十の日會…

○まじめに蓬ばかりを摘みゐてみけり　浮碧樓
○摘草板の間に春の土こぼるゝ　華虹
○そこな唐人墓に摘草を置き　句平
○摘草の知らぬ匙(はしたなかりしや)　阿岐良
○摘草挨久しくは立つて居らず　鳥堂

新刊紹介(到着順)

▲京畿道統計年報(大正五年度) 朝鮮總督府京畿道編纂

▲演藝畫報(五ノ三) 演劇及び諸遊藝の記事を滿載す新式錦繪及びオフセツト彩色畫並びにコロタイプ、アートタイプの鮮明なる插畫數十葉を挿入し「文園」には名優評傳數篇舞臺劇研究其の他數十篇を初め名優の容姿及び故實、雜錄、文苑數十篇を掲げたる艶やかなる雜誌なり(四十錢東京京橋南佐柄木町七演藝俱樂部)

▲露西亞評論(創刊號) 時局に對して生れたる雜誌なり露國大使セルゲイ主教の祝文あり内容は萩野中將、長瀬鳳輔、夏秋亀一氏等並びに内外各學校教授、露西亞事情及び一般の研究に關する寄稿豐富にて露國に關する雜誌新聞の索引を載せ外に兒玉花外、ポリス、テイツエフの創作あり(二十五錢東京赤阪丹後町五澁文館)

▲考へ方(一ノ七) 數學國漢文其他一般科學の考へ方を論議立案して受驗者の東道となるべき記事を滿載す(十七錢東京神田北神保町一三考へ方研究社)

▲俳句世界(二ノ三) 碧雲翁の自叙傳を初め俳壇知名の士の起稿に成る文藝論、歷史、評釋、句論、俳話其他俳壇の消息を掲げ附録に現代名家選句五選、句集を載せたり(二十錢東京牛込西五軒町三五共他)

御旅行と御散歩と動物園行には輕裝なる洋服に遊ばせ
京城旭町一 電話三〇二〇番 コドモヤ洋裝店

▲習字と作文(三ノ三) 習字上達法、讀書教授の研究外八篇(十錢東京巣鴨一八六二共社)

▲我が家(三ノ三) 兵隊の食べ物、醫者、章、落古の木綿を活かす法、婦人達の兵營見物、乾物ばかりの獻立等(五錢東京麴町飯田町二ノ五二帝國在郷軍人會本部)

▲經濟資料(四ノ三) 二十五錢東京麴町區下二番町六八外交時報社

▲ジャパンタイムス學生號(一四) 十二錢東京麴町内幸町一ノ四ジャパンタイムス社

▲法制世界(二〇ノ二) 法制經濟及び實業界、東京神田美土代町二ノ一箇記學研究會

▲實生活(三月號) 十三錢東京芝區伊皿子町共社

▲一大帝國(三月號) 十六錢東京芝區琴平町共社

▲極東時報(五三) 東京京橋區築地明石町共社

▲青島御商報(二月號) 十五錢青島靜岡町一四共社

▲保險新聞(三月號) 東京神田北神保町共社

讀者の領分

▲無念居士兄よ、僕は足下の意のある處を喜ぶのです兄よ僕は其の學の實行には誓つて賛成し大いに共鳴してやる事を聲明するのである現代青年墮落の色彩は愈々濃厚となりつゝある而るに今猶其の設備のなきは甚だ遺憾だ(檜垣隆士)

▲東亞の今度の朝日値上は好煙家には大の打擊だ一時に二割の値上は内地の眞似でもあるまいが内地の事を思へば餘程安い今迄五錢のが六錢になれば多少愛煙家の打撃を感ずると思ふ僕は一日朝日を三袋乃至四袋吸ふが空袋も今約千個以上あると思ふ空袋を値上げの此際何とか引換にして廢物利用をなしては如何なるものにや(ケチン坊)

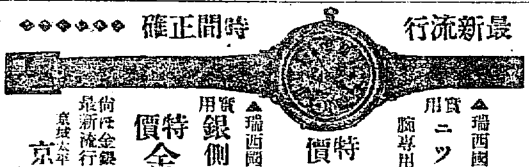
▲三月一日本欄に同度生に答ふ朝鮮總督府管内の郵便貯金通帳と内地通帳との受拂上記載形式相違との事なるも別に相違の點なし同生は多分銀行預金帳との感違ひならん敢て一言を呈す(遞信小僧)

▲憤怒生君よ君は餘程野蠻だね朝湯にはいるのが老人だとは九州か奥州あたりの山奥から出て來た百姓がいふ事だ君等には必要もなからうが僕等には至極必要だ朝湯にはいつて身心を淸めすが〱した心と英氣を以て萬事を裁決大に活動するのだ喝(エス生)

▲若草町附近の某菓子屋の御主人よ家であんなに職人を多く使つて妻君は貞實に子供の世話から店から雇人の監督まで一から六まで不幸續きの家計を切り拔いてよく働き主婦たるの本分を盡して居るにも拘らず家を外に許からぬ遊びに耽つて碌々家に寄り附かず氣鬱をして居る子供や女房が可愛想とは思ひませぬか家を大事とは思ひませんか今直に改心せねど天罰を戮りますよ(近所生)

▲陸軍記念日は一般に祝賀すべき事なれば功勞多き士を招待するは尤も良し又官民中少尉も可なり並に隱れたる有力なる婦人會の役員諸姉を招くも尤も適當と考ふ(公平生)

▲書籍御案内▼
岡本米藏著
三版 商工界の七十日 價五〇 郵税六
同 三版 修學行商日記 價三五 郵税六
同 二版 紐育市内外の地所 價九〇 郵税六
京城太平通壹丁目 京城日報代理部
電話長六六〇、三二六番 振替口座京城三〇〇番

最新流行 時間正確

▲瑞西國製 實用ニッケル側 腕專用時計 特價金六圓
▲瑞西國製 實用銀側腕時計 特價金七圓
尙ほ金銀側懷中時計最新流行品取揃居候
京城太平通一丁目 京日代理部 振替京城三〇〇番

中山太陽堂經營

中山化學研究所完成品發賣

品 釀造用純良50%乳酸
當工業所精製乳酸は無色透明にして脂肪酸の臭氣なく夾雜物を含まず、大藏省醸造試驗所數次の試驗の結果は最優良品として推奬せられ完全に且つ容易に芳醇なる清酒を醸造する事を得る上に於て無比の特効を有す

品 乳酸カルシウム
本劑は健康増進に偉大なる効果あり喘息、結核、リウマチス、神經衰弱症、ヒステリー、消化不良、佝僂病、分娩前後の婦人は勿論無病の者も健康を增進するを得る等諸症に應用して効果顯著なり殊に本研究所にて完成したる逸品なれば毫も夾雜物を含まざる純良品なり、近時カルシユム療法の提唱せらるゝに及び本劑最も歡迎せらる

品 乳酸マグネシウム
本劑は主として便秘症に用ひて、著しく効果あり副作用なく白色の結晶粉末なれば婦人少兒と雖も快く服用するを得べし

品 過硼酸曹達

品 過酸化硼砂
是等二劑は有効酸素に富める粉末劑にして殺菌力及び消毒力共に強く而も任意の形態に使用し得べく効果殊に顯著なり

品 フェナセチン
本劑は主に解熱藥として用ひ其効果確實にして眠ふべき副作用なし

品 工業用過酸化水素水
本劑は工業及び装飾品の漂白に用ひ特効夥し。

品 醫藥用過酸化水素水
本劑は消毒制臭の目的に供用せられ絶對無害且つ防腐力の強大なる事他の藥品の企及し能はざる所にして之を家庭藥として用ひられ尙ほ歯牙を強め、化粧用として卓効あり

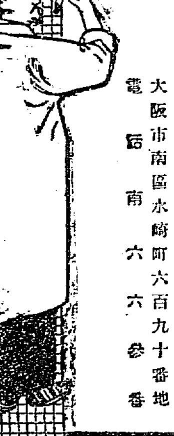
品 精製獸炭
本品は醫療用藥品化學品等の精製に際し粗品の脫色上缺くべからざる必要品なるに不拘現時其優良品の得難きを憂へ特に本所に於て研究精製したる逸品なり

品 過酸化マグネシウム
本品は緩下劑として特効あり尙ほ萎黃病、貧血、僂麻質斯、痛風等に内用し、外用として軟膏を調製し消毒、殺菌、化膿防等に供用す

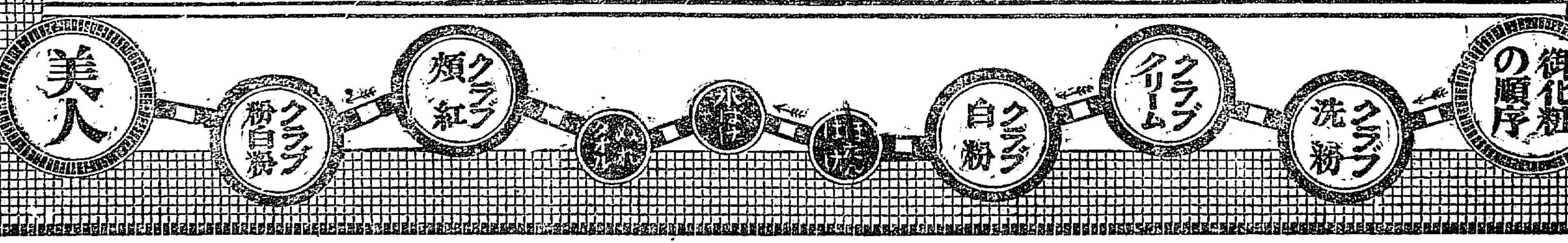
品 過酸化バリウム
本品は多量の有効酸素を含有し過酸化水素の製造に供せらる、又漂白劑及び殺菌劑として賞用せらる

品 塩化バリウム
本品は鹽酸加里の製造に應用すれば原料なる鹽化加里中に不純物として多量に含有さるゝ硫酸根を除去すると同時に鹽分を增加し鹽酸加里の製産能率を高むるを以て斯業にありては不可缺ものなり、其他煙火製造に多量に使用せらる

品 無水醋酸
本品はアミーン鹽基等の醋酸附加作用に多量に使用する等有機化學品合成上の必要藥品なる而已ならず纖維工業其他に於て特殊の溶劑として賞用せらるゝ事少しとせず



品 中山化學工業所
大阪市南區水崎町六百九十番地 電話南六六參番



大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
●神戸大阪行(群山寄港)
須磨丸 三月十日 後五時出
△南部丸 三月九日 後五時出
△福州丸 三月十一日 後五時出
×●木浦、釜山、嚴原、郷ノ浦、長崎行
安東丸 三月十八日 後二時出
×●鎮南浦、大連行
安東丸 三月十三日 後二時出
信濃川丸 月 日 正午出帆
元山出帆
●西湖津、新浦、城津、淸津行
宮島丸 三月十日 後十二時
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 三月八日 後九時出
大連出帆
●上海、基隆、打狗行
湖北丸 三月 日 前六時出
基隆丸 三月十四日 後四時出
内地各港出帆主要航路
●南米行 一年四回
●濠洲行 毎月一回
●北米行 毎月二回
●孟買行 毎月二回
●南洋行 毎月一回
注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇五番
京城營業所 電話七〇八番
仁川京城通り切符發賣 [illegible]

朝鮮郵船 出帆
本社 電話長一九五二番二三三番
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門通 松原運送店 電話一二七〇番
○門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
第二高運丸 月 日
成鏡丸 月 日
×京畿丸 月 日
忠淸丸 月 日 釜山發
○元山より北鮮各地經由雄基行
鏡城丸 月 日
咸鏡丸 月 日
京畿丸 月 日
忠淸丸 月 日
高運丸 月 日 元山發
○大阪行(釜山門司經由)
平壤丸 月 日 釜山發
○元山ヨリ釜山浦門行
第二高運丸 月 日
京畿丸 月 日 元山發
○元山ヨリ江原道寄港釜山浦門行
成鏡丸 月 日
忠淸丸 月 日 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
盈德丸 月 日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸 毎日
襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦巨文島經由
昌平丸 月 日 釜山發
○濟州島行
○釜山、公州丸 月 日
西湖丸、慶興丸 月 日 木浦發
○釜山、麗水間
海州丸 巨濟丸 毎日釜山發
統營丸
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
服天丸 三日目毎ニ
南陽丸 修繕中 木浦發
○木浦ヨリ多浦島各島行
慶興丸 月 日 木浦發
○仁川木浦行(群山其他各地經由)
晋州丸 月 日
金海丸 月 日 仁川發
○海州行(江華島各地經由)
全州丸 南陽丸休航 毎日 仁川發
三十一日ハ休航
其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
○齊島行(大連經由)
江原丸 月 日 仁川發
○海州行(大阪神戸門司より)
咸平丸 月 日 元山發

京城龍山等各地と貨物有御注意
りん病ばい毒 藥店 藥種商
Dにせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に偽ドラッグあり販賣せられる模樣あり京城に於て京城ドラッグ商會と同じ名乘る者あらば至て注意
詐欺漢なり

京城南大門外 ドラッグ商會
京城黄金町三丁目 東道大阪ドラッグ商會

金泉間自動車著發時刻
鐵居自動車部金泉支部 金泉電話四八番

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
神代丸 三月十四日 後四時出
秀吉丸 三月十六日 後四時出
君代丸 三月四日 後四時出
大有丸 三月八日 後四時出
仁川海岸通 高杉回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸 三月六日 午後入港 三月八日 午前時出
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城大取扱店 河村運送店

日本郵船 仁川出帆
大連行、天津行
相模丸 三月二十日
三河丸 三月十一日
高砂丸 三月卅一日 正午出
仁川海岸通 堀回漕部

汽船 釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 月 日 後五時出
立神丸 月 日 後五時出
元山、淸津、浦鹽行
和歌浦丸 月 日 後四時出
立神丸 月 日 後十時出
佐須奈、厳原、壹岐、博多行
天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三神平丸 三月十三日 後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三神平丸 三月廿二日 後六時出
釜山港辨天町 大池回漕部